

19-E002

資料

平成19年度
我が国産業界における EDI 実態調査報告書

平成20年2月

財団法人日本情報処理開発協会
電子商取引推進センター



この事業は、競輪の補助金を受けて、実施したものです。
<http://ringring-keirin.jp>



(裏表紙)

はじめに

この報告書は、財団法人日本情報処理開発協会が競輪の補助金を受けて実施した平成19年度「電子商取引の推進に関する調査研究補助事業」の一環として取りまとめたものである。

財団法人日本情報処理開発協会 電子商取引推進センター (JIPDEC / ECPC) と次世代 EDI 推進協議会 (JEDIC) は、日本における EDI の普及を推進するために、産業界各位からのご協力をいただきながら、各種の普及・啓発事業を行っています。多くの業界、企業の努力に加え、昨今の情報技術の急速な発展により、わが国における EDI は着実に進展してきているように思われます。

しかしながら、その進展状況を定量的に観測するデータは残念ながらほとんどないようです。このため、EDI の普及促進のために、今後どのような領域に注力すべきかを把握することが困難であり、また、実際に EDI を使い始めようとする企業にとっては、相手先業界における EDI 化の状況把握が困難になっています。

こうした背景から JIPDEC / ECPC と JEDIC では、国内企業の我が国の EDI の実態を把握し、その結果を広く一般に公表することを目的として、平成 8 年度から EDI の利用実態に関する調査を開始しました。本報告書はその第 12 回目の調査結果を取りまとめたものです。

平成 19 年度の EDI 実態調査は、次世代 EDI 推進協議会の会員団体に参加されている企業にフォーカスし、会員団体に全面的なご協力を得るとともに、各会員の業界内での実態を把握できるような調査方式を導入し、アンケート調査を行いました。また、会員ならびに EDI 普及部会のご助言をいただき、設問を簡略化し、回答し易いものにしてあります。そのため、3,427 社にアンケートを送付し、845 社からご回答を頂くことができ、回収率は 24.7% と近年にない好結果となりました。

最後に、ご多忙の中、本調査の企画から実施・調査の取りまとめのために、ご指導並びにご協力をいただいた経済産業省、次世代 EDI 推進協議会会員をはじめとする関係各位に深甚なる感謝の意を表します。

平成 20 年 2 月

財団法人日本情報処理開発協会
電子商取引推進センター

次世代EDI推進協議会 関係者名簿

(順不同・敬称略)

1. 役員

会 長 : 米倉 弘昌 石油化学工業協会
副 会 長 : 勝俣 恒久 電気事業連合会

2. 運営委員会

委 員 長 : 高田 雅昭 石油化学工業協会
副委員長 : 九萬原 敏已 電気事業連合会
委 員 : 石井 徹郎 (社)日本ロジスティクスシステム協会
石原 直 旅行電子商取引促進機構
大木 啓一 (社)日本電線工業会
大久保 秀典 ロジックコンサルティング(EDI推進部会長)
片岡 幸一 (財)日本情報処理開発協会
杉本 辰二 繊維産業流通構造改革推進協議会
関根 直弘 NBS研究所(EDI普及部会長)
園田 信夫 (財)建設業振興基金
高草 健治 (社)日本航空宇宙工業会
田村 一之 (社)日本鉄鋼連盟
濱野 径雄 (財)流通システム開発センター
治田 彰 (財)日本貿易関係手続簡易化協会
星野 護 (社)日本自動車工業会
矢野 晴一 (社)電子情報技術産業協会

3. EDI普及部会

部 会 長 : 関根 直弘 NBS研究所
委 員 : 稲田 道憲 日本紙商団体連合会・日本製紙連合会
加藤 隆三 (社)日本建材・住宅設備産業協会
川内 晟宏 共通XML/EDI実用化推進協議会
須々木 洋三 日本紙商団体連合会・日本製紙連合会
藤岡 慎弥 旅行電子商取引促進機構
牧野 光陽 共通XML/EDI実用化推進協議会
矢野 晴一 (社)電子情報技術産業協会

4. オブザーバー

経済産業省商務情報政策局情報経済課

5. 事務局

菅又 久直 (財)日本情報処理開発協会 電子商取引推進センター
若泉 和彦 (財)日本情報処理開発協会 電子商取引推進センター
田盛 正人 (財)日本情報処理開発協会 電子商取引推進センター
神酒 絵里子 (財)日本情報処理開発協会 電子商取引推進センター

目次

1	概要	- 1 -
1.1	本調査の目的	- 1 -
1.2	調査の方法	- 1 -
1.3	調査の手順	- 1 -
1.4	調査票の概要	- 2 -
1.5	アンケートの回収状況	- 2 -
2	調査回答企業プロフィール	- 3 -
2.1	回答企業の資本金	- 3 -
2.2	回答企業の売上高	- 4 -
2.3	回答企業の従業員数	- 5 -
2.4	回答企業の所属団体	- 6 -
3	EDI 活用の実態 ～業務面～	- 8 -
3.1	回答企業の EDI 実施状況	- 8 -
3.2	回答企業の EDI を導入していない理由	- 11 -
3.3	回答企業の EDI を始める際の障害	- 13 -
3.4	回答企業の EDI の導入効果	- 14 -
3.5	回答企業の EDI 適用業務	- 17 -
3.6	回答企業の EDI の将来適用希望の業務	- 21 -
3.7	回答企業の受注者の立場における取引先社数の EDI 取引割合	- 23 -
3.8	回答企業の受注者の立場における受注件数の EDI 取引割合	- 24 -
3.9	回答企業の発注者の立場における取引先社数の EDI 取引割合	- 25 -
3.10	回答企業の発注者の立場における発注件数の EDI 取引割合	- 26 -
3.11	回答企業が所属する業界の EDI 標準	- 27 -
3.12	回答企業が使用する業界標準の単一 / 複数標準の状況	- 28 -
3.13	回答企業の海外企業との EDI 実施	- 29 -
4	EDI 活用の実態 ～技術面～	- 30 -
4.1	回答企業の EDI で使用している通信ネットワーク	- 30 -
4.2	回答企業の将来 EDI で使用を検討している通信ネットワーク	- 31 -
4.3	回答企業のインターネットを使用した EDI 方式	- 32 -
4.4	回答企業の EDI で使用している通信プロトコル	- 33 -
4.5	回答企業の将来 EDI で使用を検討している通信プロトコル	- 34 -
4.6	回答企業の EDI で使用しているシンタックスルール	- 35 -
4.7	回答企業の将来 EDI で使用を検討しているシンタックスルール	- 36 -
4.8	回答企業の XML のメッセージ方式	- 37 -
4.9	今後の EDI ネットワークがインターネット主流になるか	- 38 -
4.10	今後の EDI のシンタックスが XML 主流になるか	- 39 -
5	まとめ	- 40 -
	参考資料	
	アンケート調査	

1 概要

1.1 本調査の目的

「我が国産業界の EDI 実態調査」は、従前より「国内外の EDI 実態調査」として、国内企業の EDI の利用状況等を把握するとともに、EDI の普及拡大に資するために、1997 年より次世代 EDI 推進協議会（旧：EDI 推進協議会、事務局：財団法人日本情報処理開発協会電子商取引推進センター）が主体となって継続的に行われてきており、今回はその第 12 回目である。

本調査は「国内企業の EDI 利用の実態把握」「EDI に係る技術動向に対する国内企業の意識・取り組み」「EDI の普及拡大方策策定に資する資料、情報の提供等」を基本的な目的としている。そのような観点からこれまで行ってきた調査内容の多くを踏襲し、従来調査からの継続性を確保した上で実施しているが、各調査時点における一部調査内容の見直しなども行いながら、EDI 利活用の実態を把握することとしている。

1.2 調査の方法

今回の調査は、国内企業に対してのアンケートにより行った。

調査を行う対象として、JEDIC の会員団体にご協力をいただき、会員団体から各団体に加盟している会員企業に今回のアンケート調査への協力を依頼し、回収率の向上を目指した。

また、調査票の送付にあたっては、以下のいずれかの方法により実施した。

- ・電子ファイル（MS-EXCEL 形式）の調査票を電子メールにより送付する方式
- ・電子ファイル（MS-EXCEL 形式）の調査票を回答者に JEDIC サイトよりダウンロードしてもらう方式
- ・紙の調査票を郵送する方式

これらの方法は、さらに調査票または調査協力依頼の送付元（調査にご協力いただいている JEDIC 会員団体か、事務局か）、個人情報である宛名情報や回答者の情報のやり取りの状況等により、細分化したものを想定した上で実施した。

1.3 調査の手順

（参考）アンケート調査票および調査方法の決定

アンケート調査票は、JEDIC 会員団体にとって有益な価値のある調査を目指すことから、JEDIC の EDI 普及部会で昨年度の調査票をもとに検討を行い、若干数の設問の削減、入れ替え等を行ったものとした。

（参考）JEDIC 会員団体への調査協力依頼（2007 年 9 月下旬～10 月中旬）

JEDIC 会員団体 61 団体（平成 19 年 10 月時点）に対し、今回の調査方法について個別に電話でご説明のうえ調査への協力依頼を行い、最終的に前回調査より 12 団体多い 40 団体からのご協力をいただいた。

また、調査協力の意思を示していただいた団体に対し、アンケート調査票の配付・回収方法について、(1)で提示したいずれの方法を採用するか、および調査時期の調整を行ったうえで実査を行った。

(参考) アンケート調査票の発送及び回収(2007年10月中旬～12月中旬)

調査への協力依頼を受託していただいた団体に対し、または送付先情報としていただいた各団体の会員企業に対し、順次調査票を発送し、回答を回収した。

一部団体においては、団体独自の調査と一緒にするという位置付けで、当初の計画より先行あるいは遅れて実施した団体もあり、調査全体の期間としては約2ヶ月となった。

1.4 調査票の概要

アンケート調査票は、以下のような内容により構成されている。

なお参考までに、参考資料に調査票(紙で配付したもの)を添付している。

- ・ 回答企業のプロフィール
回答企業の資本金、売上高、従業員数
- ・ EDIの業務面に関する質問
EDIの導入状況および活用の実態、その効果等について
- ・ EDIの技術面に関する質問

現在利用している、もしくは今後の利用を検討しているEDIの技術的内容(通信ネットワーク、通信プロトコル、シNTAXスルール等について)

また、アンケート調査票は回答のしやすさを考慮し、全て選択式とし、かつ今回の調査では回答企業の企業名や部門名などの情報は回答者からいただかないものとした。

なお、アンケート調査表は原則として全団体共通の内容としているが、一部の会員団体による設問の追加等のカスタマイズも可能としている。

1.5 アンケートの回収状況

アンケート調査票の発送数、回収数、回収率は以下のとおりとなった。

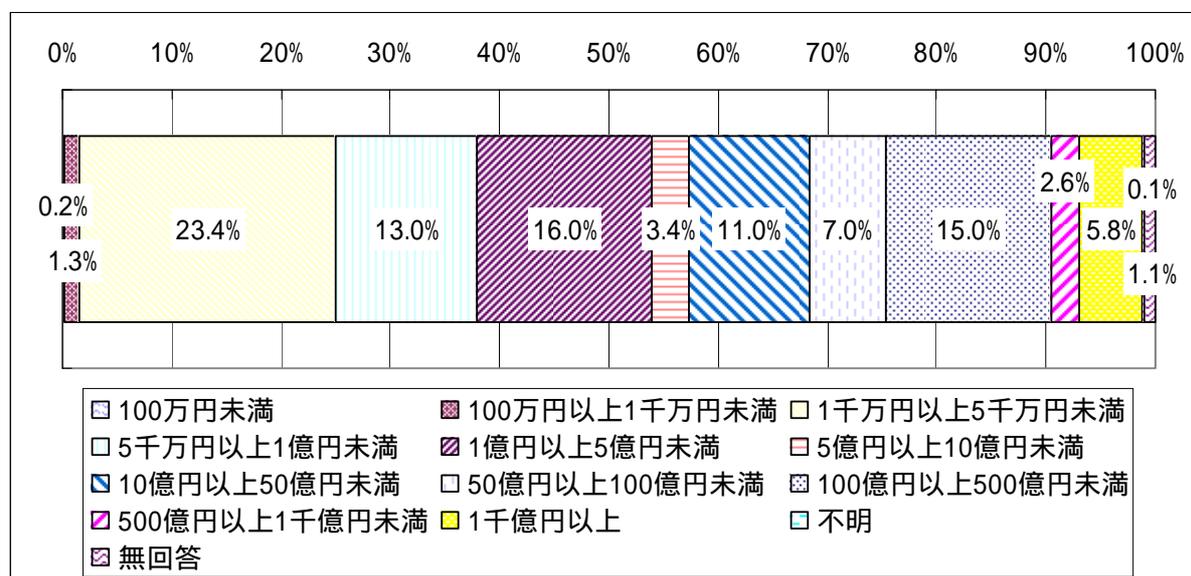
- ・ 発送数 : 3,427 件
- ・ 回収数 : 845 件
- ・ 回収率 : 24.7%

2 調査回答企業プロフィール

2.1 回答企業の資本金

問1 貴社のH18年3月末時点の資本金はどれくらいですか。(1つだけ)

資本金	回答数	構成比
100万円未満	2	0.2%
100万円以上1千万円未満	11	1.3%
1千万円以上5千万円未満	198	23.4%
5千万円以上1億円未満	110	13.0%
1億円以上5億円未満	135	16.0%
5億円以上10億円未満	29	3.4%
10億円以上50億円未満	93	11.0%
50億円以上100億円未満	59	7.0%
100億円以上500億円未満	127	15.0%
500億円以上1千億円未満	22	2.6%
1千億円以上	49	5.8%
不明	1	0.1%
無回答	9	1.1%
計	845	100.0%



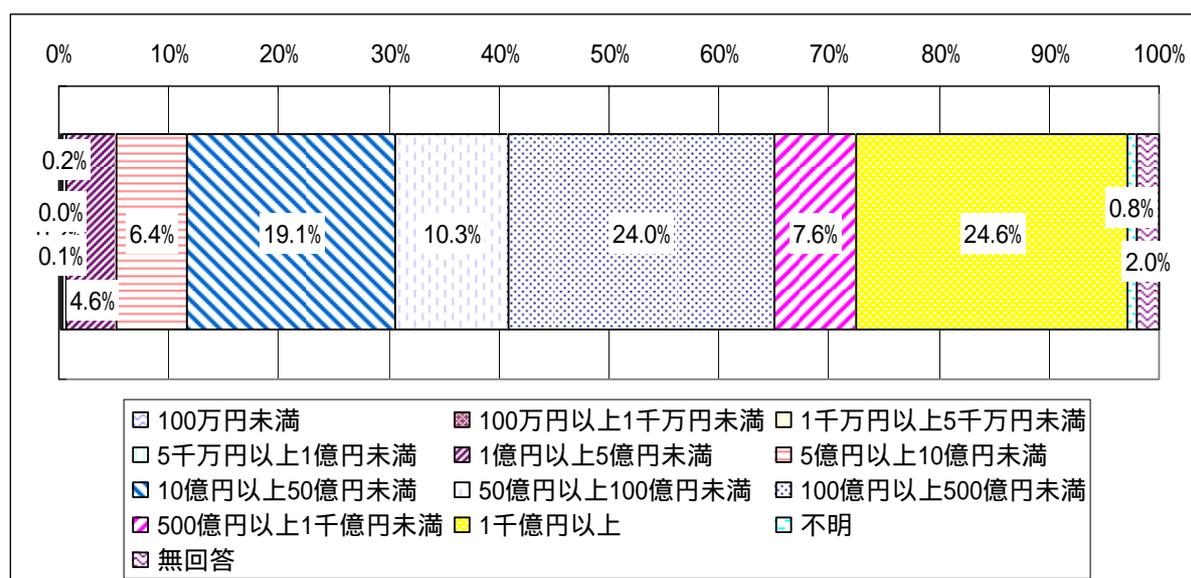
回答のあった企業は、資本金の規模別に見ると「1千万円以上5千万円未満」が23.5%で最も多く、1億円未満の層を合計すると約4割となり、このあたりの傾向は前回調査と大きく変わっていない。

ただし、「5千万円以上1億円未満」「1億円以上5億円未満」の層が前回より増加している一方、「100億円以上」が減少しており、全体的に規模が中程度の企業の割合が増加している。

2.2 回答企業の売上高

問2 貴社(ご回答部門)のH18年度の売上高はどれくらいですか。(1つだけ)

売上高	回答数	構成比
100万円未満	2	0.2%
100万円以上1千万円未満	0	0.0%
1千万円以上5千万円未満	1	0.1%
5千万円以上1億円未満	2	0.2%
1億円以上5億円未満	39	4.6%
5億円以上10億円未満	54	6.4%
10億円以上50億円未満	161	19.1%
50億円以上100億円未満	87	10.3%
100億円以上500億円未満	203	24.0%
500億円以上1千億円未満	64	7.6%
1千億円以上	208	24.6%
不明	7	0.8%
無回答	17	2.0%
計	845	100.0%

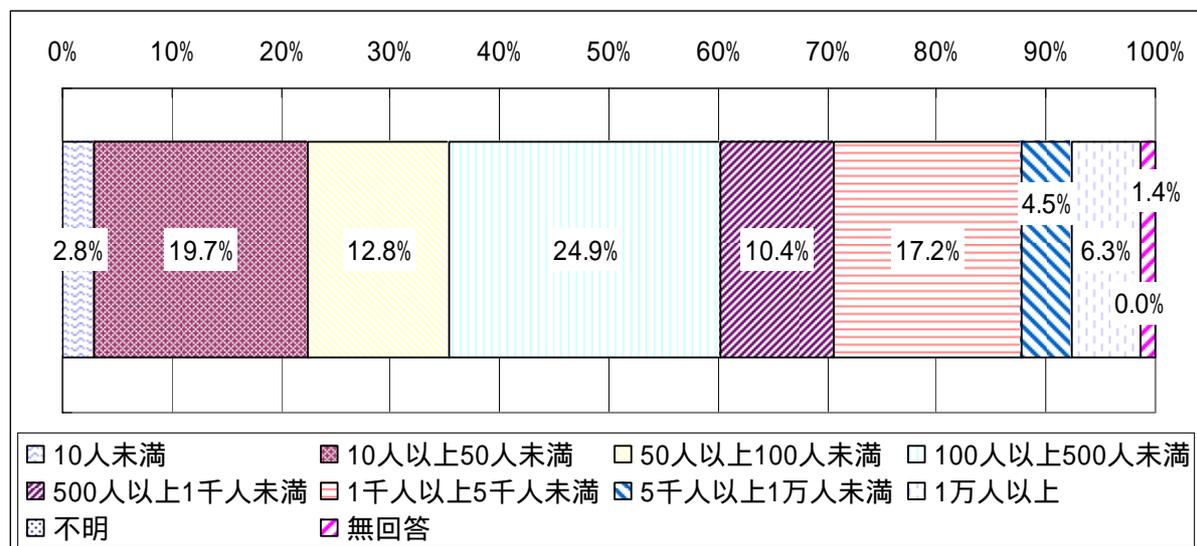


回答のあった企業は、売上高の規模別に見ると10億円以上の層が約9割を占めている。前回との比較では、「10億円以上50億円未満」が若干減少しているのに対し、「50億円以上100億円未満」「100億円以上500億円未満」が合計で10%以上増加している。

2.3 回答企業の従業員数

問3 貴社(ご回答部門)のH18年3月末時点の従業員は何人ですか。(1つだけ)

従業員数	回答数	構成比
10人未満	24	2.8%
10人以上50人未満	166	19.7%
50人以上100人未満	108	12.8%
100人以上500人未満	210	24.9%
500人以上1千人未満	88	10.4%
1千人以上5千人未満	145	17.2%
5千人以上1万人未満	38	4.5%
1万人以上	53	6.3%
不明	0	0.0%
無回答	12	1.4%
計	844	100.0%



回答のあった企業は、従業員数の規模別に見ると「100人以上500人未満」が最も多いが、5千人未満程度の規模までは、比較的偏りが少ない回答状況となっている。

2.4 回答企業の所属団体

問4 貴社(ご回答部門)が所属する業界団体をお教えてください。

複数の団体に所属されている場合は、ご回答部門と関係の深い順に4つまでお答えください。

回答企業が所属する業界団体については、1企業で複数の団体に加入しているところがあり、次表の割合を合計すると100%を超えている。

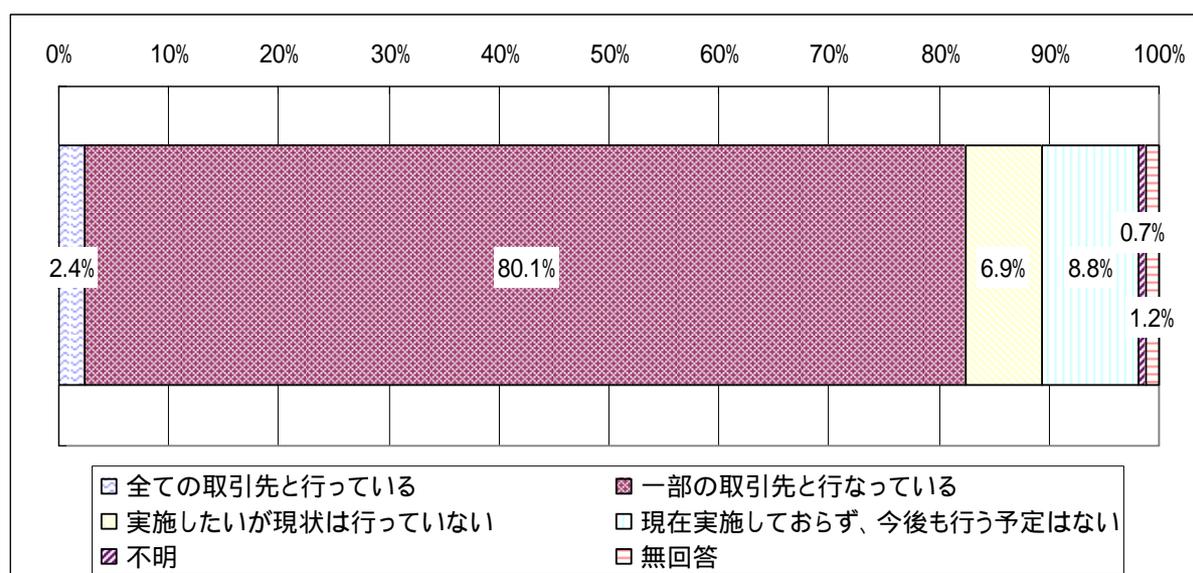
所属業界団体	対社数
(社)日本自動認識システム協会	2.1%
(財)エンジニアリング振興協会	0.8%
(財)家電製品協会	1.4%
(社)日本アルミニウム協会	0.1%
(財)建設業振興基金	2.6%
(社)日本鉄鋼連盟	3.0%
(社)港湾物流情報システム協会	4.4%
(財)国際情報化協力センター	0.2%
写真業界流通情報システム協議会	0.0%
(財)住宅産業情報サービス	0.5%
(社)情報サービス産業協会	1.4%
(財)情報処理相互運用技術協会	0.1%
(財)生活用品振興センター	0.0%
(財)製造科学技術センター	0.0%
石油化学工業協会	1.3%
石油連盟	1.2%
全国コイルセンター工業組合	3.8%
全国鉄鋼販売業連合会	0.4%
全日本電設資材卸業協同組合連合会	0.6%
電気事業連合会	1.4%
(社)日本アパレル産業協会	1.2%
(財)インターネット協会	0.2%
日本化学繊維協会	0.6%
(社)日本ガス協会	1.2%
日本紙商団体連合会	12.8%
(社)日本玩具協会	1.3%
(社)日本建材・住宅設備産業協会	0.2%
(社)日本広告業協会	4.6%
(社)日本自動車工業会	1.7%
(社)日本情報システム・ユーザー協会	0.6%
日本製紙連合会	2.1%
日本チェーンストア協会	4.0%
(社)日本電気計測器工業会	1.1%
(社)日本電機工業会	8.2%
(社)全国自動車部品商団体連合会	0.0%
(社)電子情報技術産業協会	17.3%
(社)日本電線工業会	1.4%
(社)パーソナルコンピュータソフトウェア協会	0.0%
(社)日本半導体製造装置協会	0.6%
日本百貨店協会	1.2%
日本フォーム印刷工業連合会	3.7%
(社)日本貿易会	2.1%
(財)日本貿易関係手続簡易化協会 (及び本協会の会員団体, 船主協会など)	2.1%
日本紡績協会	0.9%
日本優良家具販売協同組合	0.1%
(社)日本ロジスティクスシステム協会	0.6%
(社)日本物流団体連合会 (及び本連合会の会員団体, 全国トラック協会など)	1.8%
NEXT Q	0.0%
(財)流通システム開発センター	0.7%
旅行電子商取引促進機構	1.2%
(財)日本情報処理開発協会	1.3%
(財)石油産業活性化センター	0.1%
繊維産業流通構造改革推進協議会	0.2%
(社)日本配電制御システム工業会	4.1%
(社)日本航空宇宙工業会	3.1%
(財)食品流通構造改善促進機構	0.2%
全国家電流通協議会	0.0%
(社)日本塗料工業会	0.0%
(社)日本電気制御機器工業会	0.8%
共通XML/EDI実用化推進協議会	0.0%
有限責任中間法人日本出版インフラセンター	0.9%
日本スーパーマーケット協会	2.7%
(社)日本電設工業協会	1.8%
不明	8.4%

3 EDI 活用の実態 ～ 業務面 ～

3.1 回答企業の EDI 実施状況

問5 貴社(ご回答部門)では国内企業との取引で、EDI を導入していますか。(1つだけ)

EDI導入状況	回答数	構成比
全ての取引先と行っている	20	2.4%
一部の取引先と行なっている	676	80.1%
実施したいが現状は行っていない	58	6.9%
現在実施しておらず、今後行う予定はない	74	8.8%
不明	6	0.7%
無回答	10	1.2%
計	844	100.0%



EDIの実施状況については、「一部の取引先と行っている」と回答した企業が80%を超え、「全ての取引先と行っている」と合わせ、82.5%とかなり高率の実施率となっている。

若干ではあるが、前回調査より実施率は向上している結果となっている。

また、この EDI 実施状況について、売上高とのクロス集計を行ったのが次表である。さらに売上高により、回答企業を 2 つのグループに分け、それぞれの導入効果についてみたものを表とグラフとで提示している。

これらによれば、「全ての取引先と行っている」「一部の取引先と行っている」の分布は、50 億円を境界とする場合と 100 億円を境界とする場合ではあまりに違いがないのに対し、10 億円を境界とする場合と 50 億円を境界とする場合では、特に「一部の取引

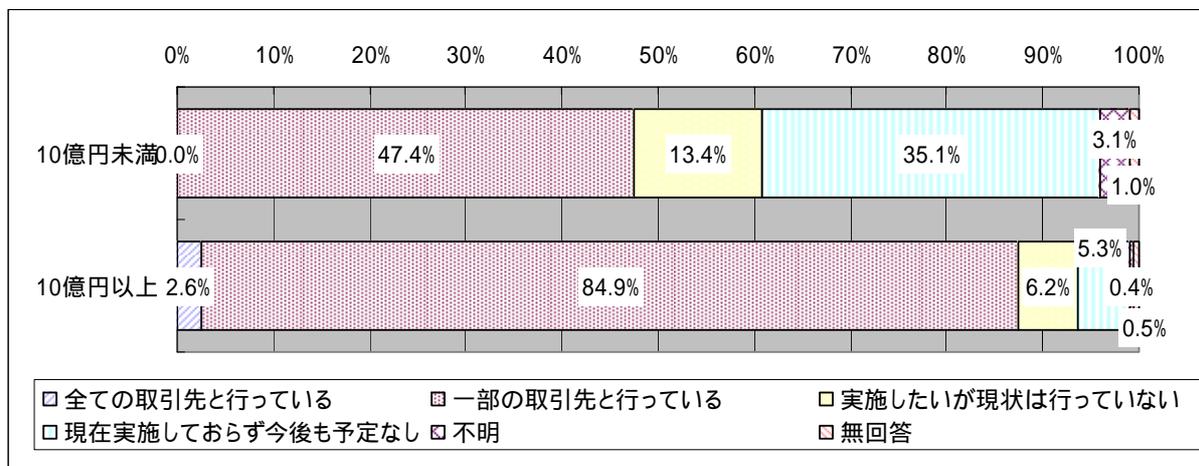
先と行っている」について違いが見られ、企業規模によりある程度の傾向の違いが出てくるのは売上高 10 億円～50 億円程度にその境界があるものと見られる。

売上高と EDI 導入状況のクロス集計

EDI導入状況	全ての取引先と行っている	一部の取引先と行っている	実施したいが現状は行っていない	現在実施しておらず今後も予定なし	不明	無回答
売上高						
100万円未満	0	1	0	1	0	0
100万円以上1千万円未満	0	0	0	0	0	0
1千万円以上5千万円未満	0	0	0	1	0	0
5千万円以上1億円未満	0	1	0	1	0	0
1億円以上5億円未満	0	13	6	17	1	1
5億円以上10億円未満	0	31	7	14	2	0
10億円以上50億円未満	1	108	28	21	2	1
50億円以上100億円未満	1	75	4	6	1	0
100億円以上500億円未満	5	181	10	6	0	1
500億円以上1千億円未満	0	58	1	3	0	2
1千億円以上	12	191	2	3	0	0
不明	0	7	0	0	0	0
無回答	1	10	0	1	0	5
計	20	676	58	74	6	10

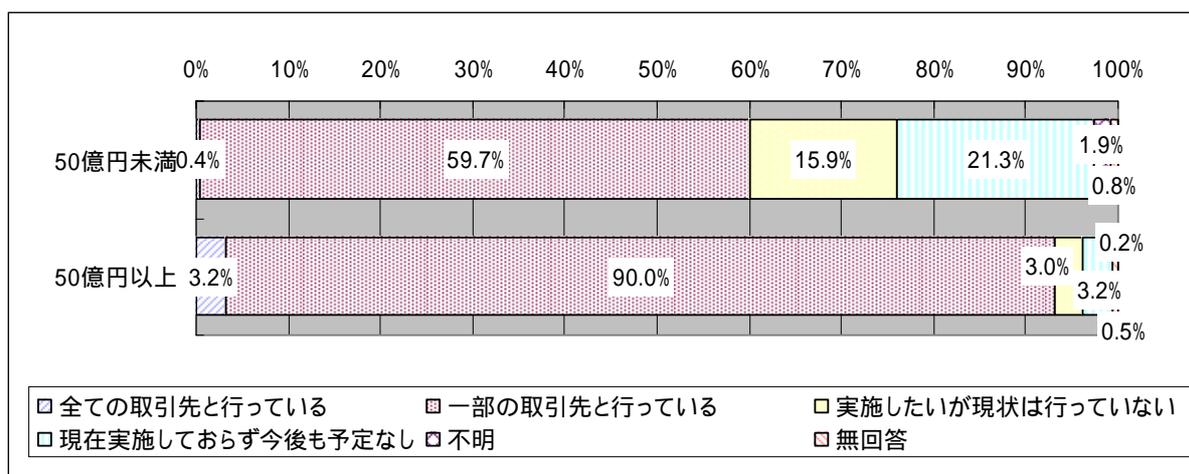
売上高(10億円を境界)と EDI 導入状況のクロス集計

EDI導入状況	全ての取引先と行っている	一部の取引先と行っている	実施したいが現状は行っていない	現在実施しておらず今後も予定なし	不明	無回答
売上高						
10億円未満	0	46	13	34	3	1
10億円以上	19	620	45	39	3	4
不明	0	7	0	0	0	0
無回答	1	10	0	1	0	5
計	21	693	58	75	6	15



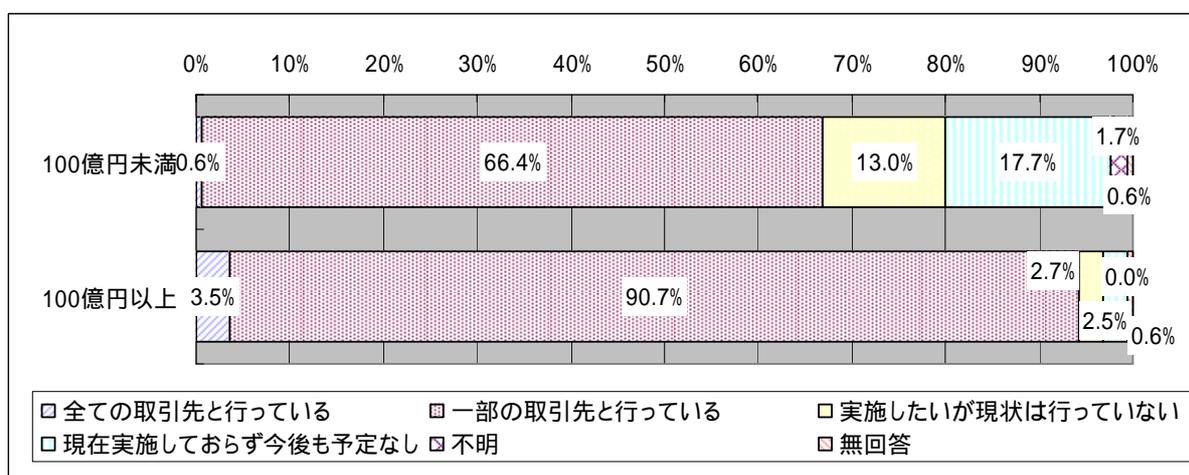
売上高 (50 億円を境界)と EDI 導入状況のクロス集計

EDI導入状況	全ての取引先と行っている	一部の取引先と行っている	実施したいが現状は行っていない	現在実施しておらず今後も予定なし	不明	無回答
売上高						
50億円未満	1	154	41	55	5	2
50億円以上	18	512	17	18	1	3
不明	0	7	0	0	0	0
無回答	1	10	0	1	0	5
計	21	693	58	75	6	15



売上高 (100 億円を境界)と EDI 導入状況のクロス集計

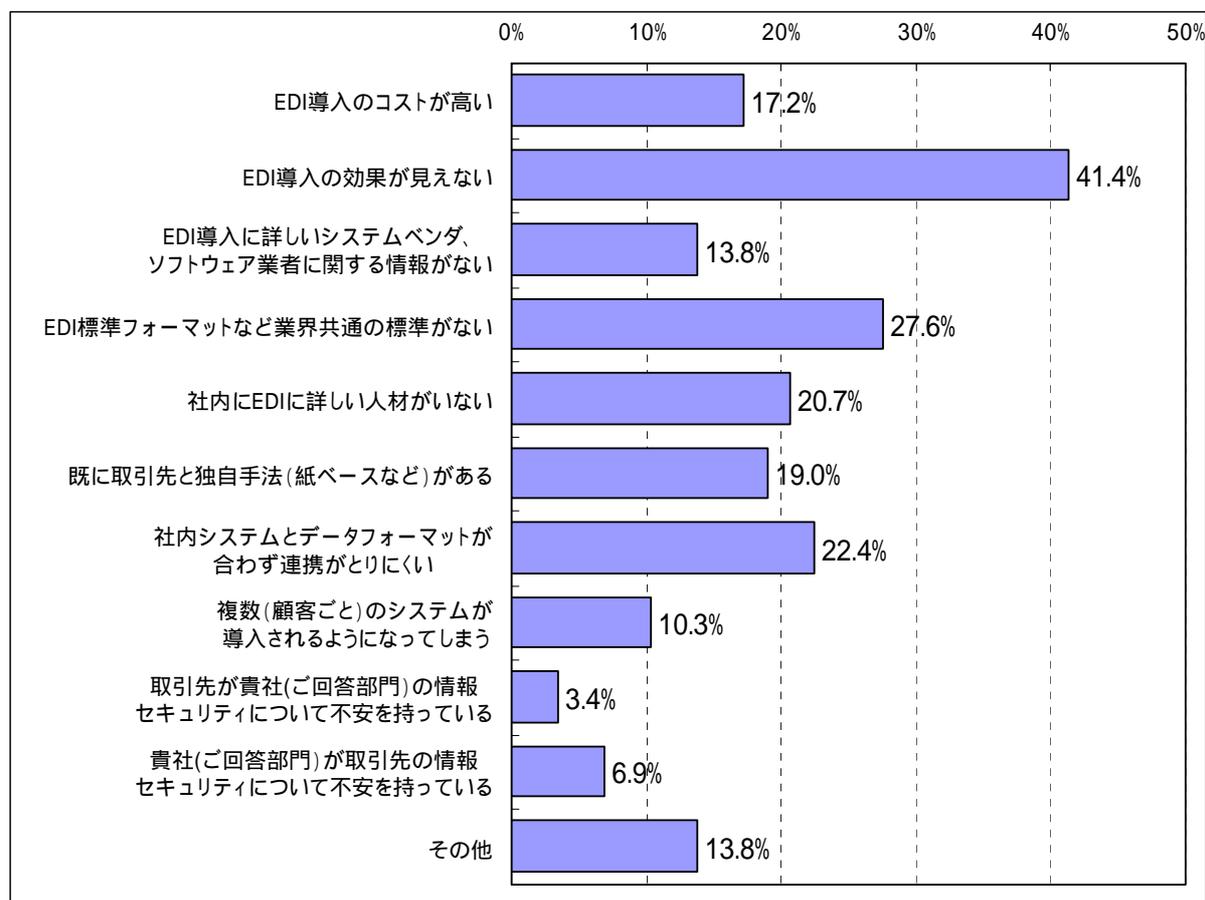
EDI導入状況	全ての取引先と行っている	一部の取引先と行っている	実施したいが現状は行っていない	現在実施しておらず今後も予定なし	不明	無回答
売上高						
100億円未満	2	229	45	61	6	2
100億円以上	17	437	13	12	0	3
不明	0	7	0	0	0	0
無回答	1	10	0	1	0	5
計	21	693	58	75	6	15



3.2 回答企業の EDI を導入していない理由

問6 問5で「実施したいが現状は行っていない。」とお答えの方に伺います。EDI を導入していない理由は何ですか。3 つまでお答えください。

導入していない理由	回答数	構成比	対社数
EDI導入のコストが高い	10	8.8%	17.2%
EDI導入の効果が見えない	24	21.1%	41.4%
EDI導入に詳しいシステムベンダ、ソフトウェア業者に関する情報がない	8	7.0%	13.8%
EDI標準フォーマットなど業界共通の標準がない	16	14.0%	27.6%
社内にEDIに詳しい人材がない	12	10.5%	20.7%
既取引先と独自手法（紙ベースなど）がある	11	9.6%	19.0%
社内システムとデータフォーマットが合わず連携がとりにくい	13	11.4%	22.4%
複数（顧客ごと）のシステムが導入されるようになってしまう	6	5.3%	10.3%
取引先が貴社（ご回答部門）の情報セキュリティについて不安を持っている	2	1.8%	3.4%
貴社（ご回答部門）が取引先の情報セキュリティについて不安を持っている	4	3.5%	6.9%
その他	8	7.0%	13.8%
計	114	100.0%	—



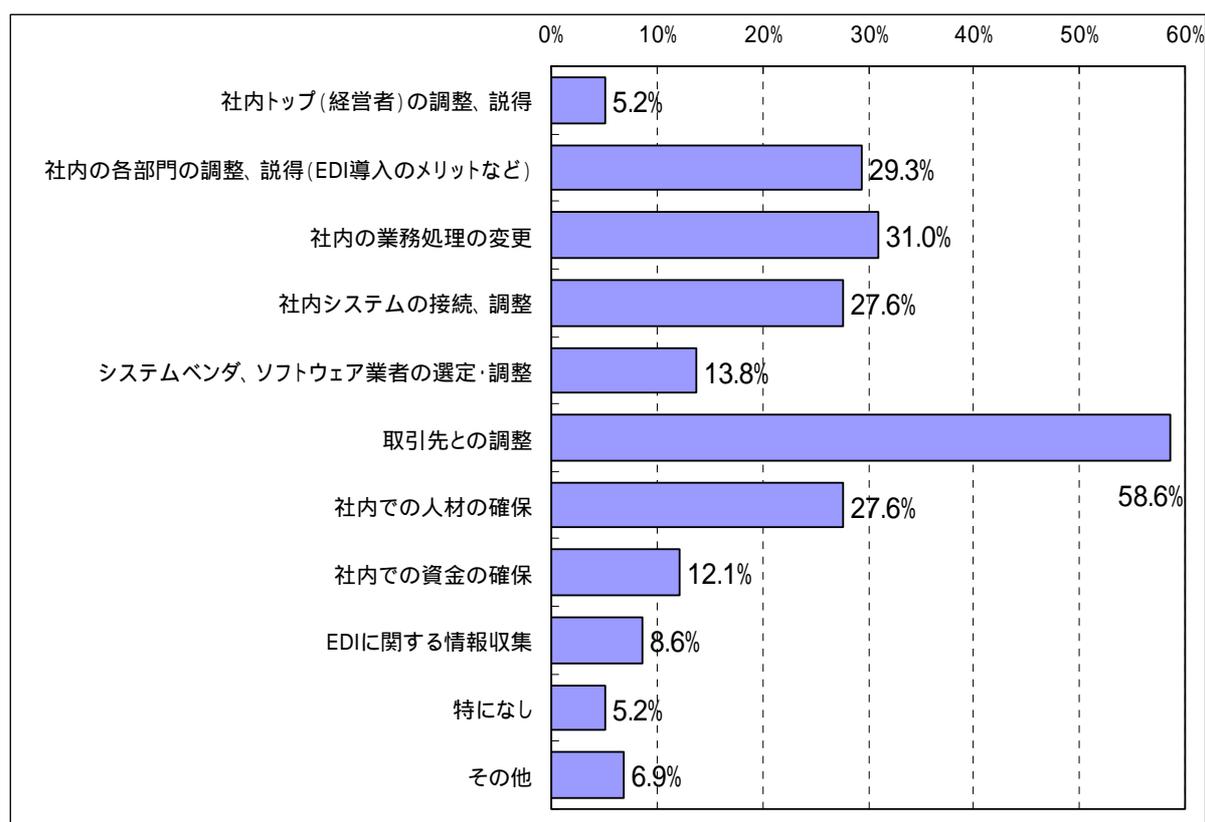
EDIを導入していない理由としては、「EDI導入の効果が見えない」が4割を超え前回調査同様最も大きな理由となっている。続いて「EDI標準フォーマットなど業界共通の標準がない」「社内システムとデータフォーマットが合わず連携が取りにくい」が続いている。

前回と比べ特徴的なのは「EDI導入のコストが高い」が13ポイント、「EDIに詳しい人材がない」が5ポイント、「複数(顧客ごと)のシステムが導入されるようになってしまふ」が8ポイント、それぞれ減少しており、全般的に導入しない理由の回答は減少している傾向が出ている。

3.3 回答企業の EDI を始める際の障害

問7 問5で「実施したいが現状では行っていない」とお答えの方に伺います。
EDI をこれから始める際に障害となるとと思われる点について3つまでお答え下さい。

開始にあたっての障害と思われる点	回答数	構成比	対社数
社内トップ(経営者)の調整、説得	3	2.3%	5.2%
社内の各部門の調整、説得(EDI導入のメリットなど)	17	13.0%	29.3%
社内の業務処理の変更	18	13.7%	31.0%
社内システムの接続、調整	16	12.2%	27.6%
システムベンダ、ソフトウェア業者の選定・調整	8	6.1%	13.8%
取引先との調整	34	26.0%	58.6%
社内での人材の確保	16	12.2%	27.6%
社内での資金の確保	7	5.3%	12.1%
EDIに関する情報収集	5	3.8%	8.6%
特になし	3	2.3%	5.2%
その他	4	3.1%	6.9%
計	131	100.0%	—

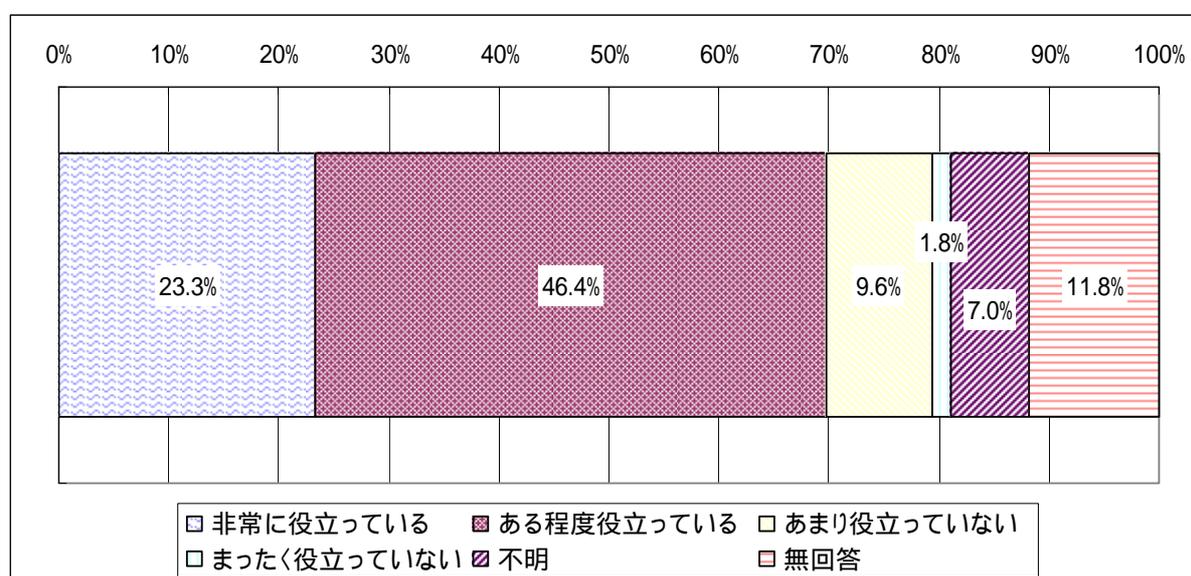


障害となる点では「取引先との調整」が約 6 割を占めて大きな懸念材料となっていることが明らかになった。一方、社内に関連しての部門間、業務処理、システム関連等の調整については、ほぼ同様の割合で指摘されている。

3.4 回答企業の EDI の導入効果

問8 EDI の導入は IT 経営や業務改革、売り上げの拡大等に役立っていますか。
(1つだけ)

EDI導入効果	回答数	構成比
非常に役立っている	197	23.3%
ある程度役立っている	392	46.4%
あまり役立っていない	81	9.6%
まったく役立っていない	15	1.8%
不明	59	7.0%
無回答	100	11.8%
計	844	100.0%



導入効果については、「ある程度役立っている」が 5 割弱で、「非常に役立っている」と合わせると、何らかの効果を感じている企業が約 7 割となっており、その割合は前回調査から 10 ポイント程度上昇している。

EDI を導入しない最大の理由は「導入効果が見えない」であったが、上記の結果からは導入したうちの 2/3 以上で効果が得られているとの回答であり、どのように効果をアピールしていくかが重要と考えられる。

またこの EDI 導入効果について、売上高とのクロス集計を行ったのが次表である。さらに売上高により、回答企業を 2 つのグループに分け、それぞれの導入効果についてみたものを表とグラフとで提示している。

これらによれば、「非常に役立っている」「ある程度役立っている」の分布は、50 億円を境界とする場合と 100 億円を境界とする場合ではあまりに違いがないのに対し、10 億円を境界とする場合と 50 億円を境界とする場合では、特に「ある程度役立っている」について違いが見られ、企業規模によりある程度の傾向の違いが出てくるのは売上

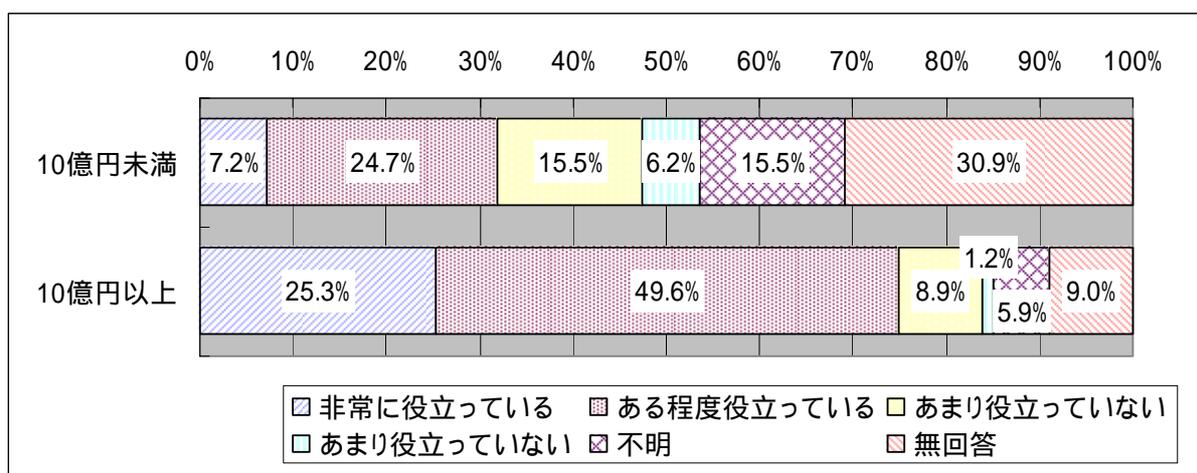
高 10 億円～ 50 億円程度にその境界があるものと見られる。

売上高と EDI 導入効果のクロス集計

売上高	EDI導入状況	非常に役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	あまり役立っていない	不明	無回答
100万円未満		0	1	0	0	1	0
100万円以上1千万円未満		0	0	0	0	0	0
1千万円以上5千万円未満		0	0	0	0	0	1
5千万円以上1億円未満		0	1	0	0	0	1
1億円以上5億円未満		1	7	5	2	7	17
5億円以上10億円未満		6	15	10	4	7	11
10億円以上50億円未満		13	75	16	6	20	31
50億円以上100億円未満		16	41	12	0	7	11
100億円以上500億円未満		52	106	20	2	8	15
500億円以上1千億円未満		10	41	7	0	1	5
1千億円以上		93	95	10	1	5	4
不明		1	4	0	0	2	0
無回答		5	6	1	0	1	4
計		197	392	81	15	59	100

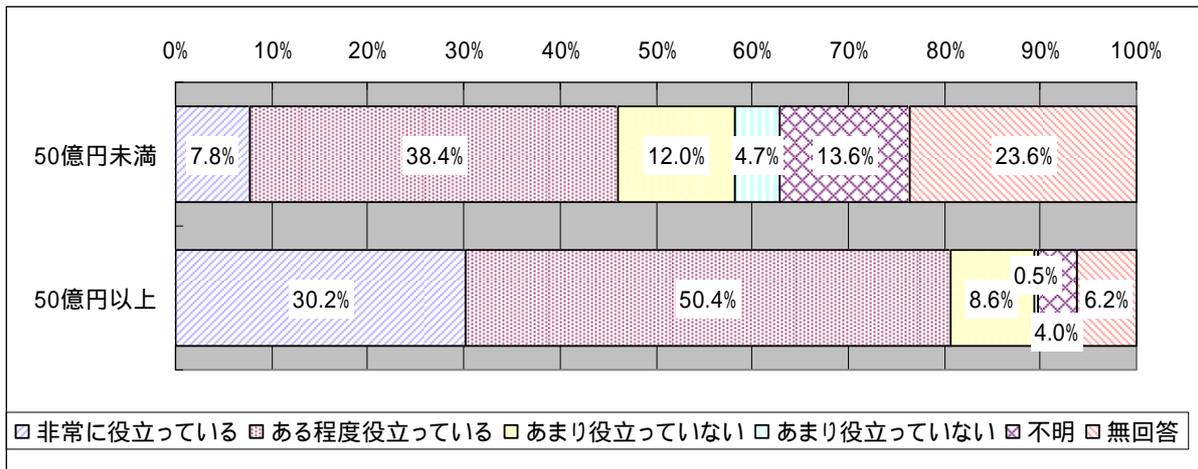
売上高(10億円を境界)と EDI 導入効果のクロス集計

売上高	EDI導入状況	非常に役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	あまり役立っていない	不明	無回答
10億円未満		7	24	15	6	15	30
10億円以上		185	362	65	9	43	66
不明		1	4	0	0	2	0
無回答		5	6	1	0	1	4
計		198	402	82	15	62	104



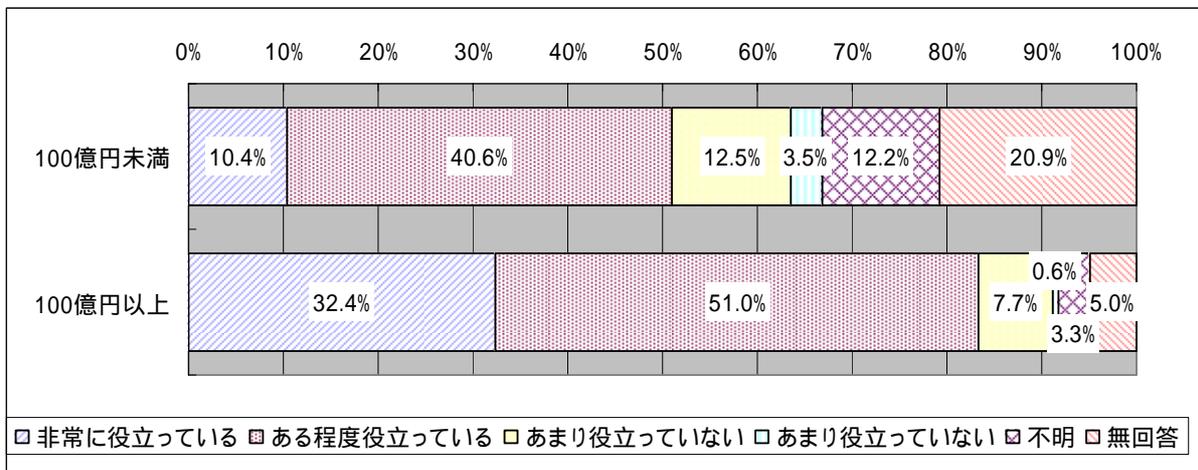
売上高 (50 億円を境界)と EDI 導入状況のクロス集計

売上高	EDI導入状況	非常に役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	あまり役立っていない	不明	無回答
50億円未満		20	99	31	12	35	61
50億円以上		172	287	49	3	23	35
不明		1	4	0	0	2	0
無回答		5	6	1	0	1	4
計		203	402	82	15	62	104



売上高 (100 億円を境界)と EDI 導入効果のクロス集計

売上高	EDI導入状況	非常に役立っている	ある程度役立っている	あまり役立っていない	あまり役立っていない	不明	無回答
100億円未満		36	140	43	12	42	72
100億円以上		156	246	37	3	16	24
不明		1	4	0	0	2	0
無回答		5	6	1	0	1	4
計		203	402	82	15	62	104



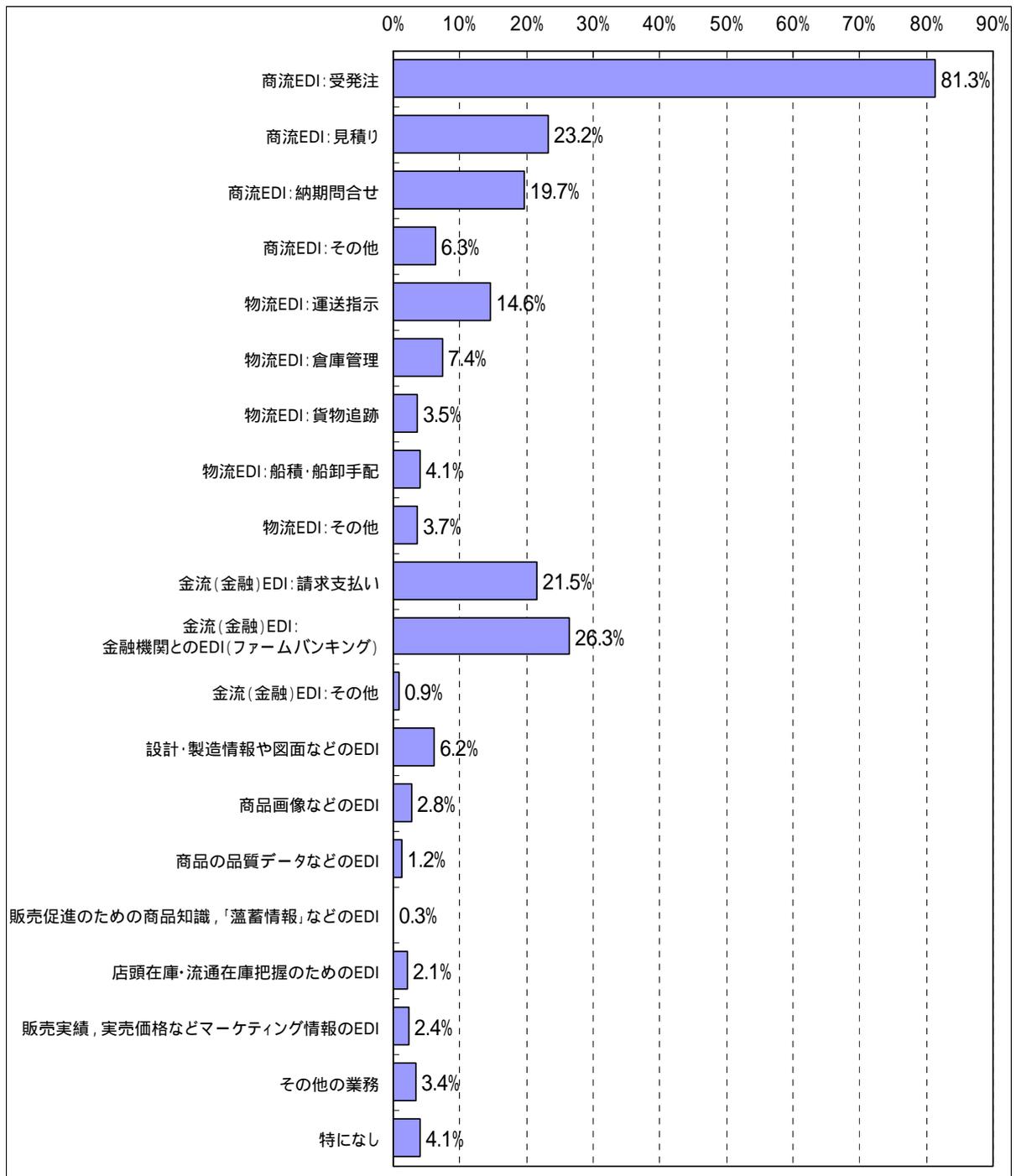
3.5 回答企業の EDI 適用業務

問9 現在どのような業務に EDI を導入していますか。主なものを3つまでお答えください。

EDI導入業務	回答数	構成比	対社数
商流EDI:受発注	553	34.6%	81.3%
商流EDI:見積り	158	9.9%	23.2%
商流EDI:納期間合せ	134	8.4%	19.7%
商流EDI:その他	43	2.7%	6.3%
物流EDI:運送指示	99	6.2%	14.6%
物流EDI:倉庫管理	50	3.1%	7.4%
物流EDI:貨物追跡	24	1.5%	3.5%
物流EDI:船積・船卸手配	28	1.8%	4.1%
物流EDI:その他	25	1.6%	3.7%
金流(金融)EDI:請求支払い	146	9.1%	21.5%
金流(金融)EDI: 金融機関とのEDI(ファームバンキング)	179	11.2%	26.3%
金流(金融)EDI:その他	6	0.4%	0.9%
設計・製造情報や図面などのEDI	42	2.6%	6.2%
商品画像などのEDI	19	1.2%	2.8%
商品の品質データなどのEDI	8	0.5%	1.2%
販売促進のための商品知識、「蒞蓄情報」などのEDI	2	0.1%	0.3%
店頭在庫・流通在庫把握のためのEDI	14	0.9%	2.1%
販売実績、実売価格などマーケティング情報のEDI	16	1.0%	2.4%
その他の業務	23	1.4%	3.4%
特になし	28	1.8%	4.1%
計	1597	100.0%	

「商流 EDI:受発注」が 80%を超え、EDI の中心的な業務であることがわかる。割合としては前回より 20 ポイント近く上昇している。

これに続いて「金流(金融)EDI:金融機関との EDI(ファームバンキング)」「商流 EDI:見積り」「金流(金融)EDI:請求支払い」が 20%を超える利用となっている。これらの業務についても、前回より 3~8 ポイント程度上昇しており、多様な業務での導入が進みつつある状況であることがわかる。

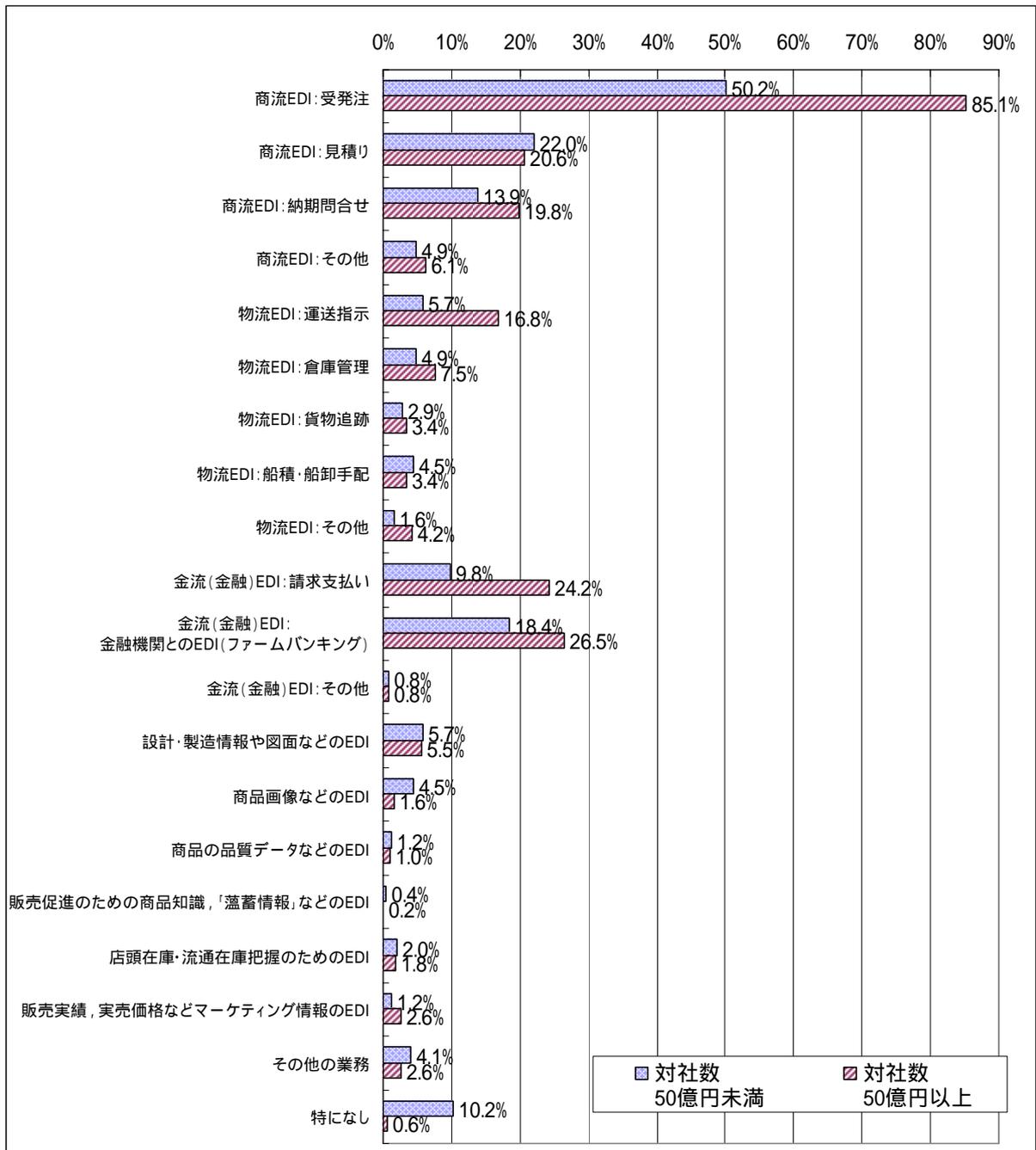


また次ページ以降の表、グラフに売上高の規模(50億円を境界)によるEDIの適用業務の違いについて比較したものを示す。

「商流 EDI:受発注」においては50億円未満と50億円以上のグループ間で30%以上の実施率の違いがあるほか、ほとんどの業務で規模の大きな企業の実施率が高い。

ただし一部には「商流 EDI:見積り」や「商品画像の EDI」などでは規模の小さい企業グループの方が実施率が高いものもあるといった特徴が見られる。

EDI導入業務	回答数 50億円未満	回答数 50億円以上	対社数 50億円未満	対社数 50億円以上	回答数 全体	対社数 全体
商流EDI:受発注	123	430	50.2%	85.1%	553	81.3%
商流EDI:見積り	54	104	22.0%	20.6%	158	23.2%
商流EDI:納期間合せ	34	100	13.9%	19.8%	134	19.7%
商流EDI:その他	12	31	4.9%	6.1%	43	6.3%
物流EDI:運送指示	14	85	5.7%	16.8%	99	14.6%
物流EDI:倉庫管理	12	38	4.9%	7.5%	50	7.4%
物流EDI:貨物追跡	7	17	2.9%	3.4%	24	3.5%
物流EDI:船積・船卸手配	11	17	4.5%	3.4%	28	4.1%
物流EDI:その他	4	21	1.6%	4.2%	25	3.7%
金流(金融)EDI:請求支払い	24	122	9.8%	24.2%	146	21.5%
金流(金融)EDI: 金融機関とのEDI(ファームバンキング)	45	134	18.4%	26.5%	179	26.3%
金流(金融)EDI:その他	2	4	0.8%	0.8%	6	0.9%
設計・製造情報や図面などのEDI	14	28	5.7%	5.5%	42	6.2%
商品画像などのEDI	11	8	4.5%	1.6%	19	2.8%
商品の品質データなどのEDI	3	5	1.2%	1.0%	8	1.2%
販売促進のための商品知識、「蒔蓄情報」などのEDI	1	1	0.4%	0.2%	2	0.3%
店頭在庫・流通在庫把握のためのEDI	5	9	2.0%	1.8%	14	2.1%
販売実績、実売価格などマーケティング情報のEDI	3	13	1.2%	2.6%	16	2.4%
その他の業務	10	13	4.1%	2.6%	23	3.4%
特になし	25	3	10.2%	0.6%	28	4.1%
計	414	1183			1597	



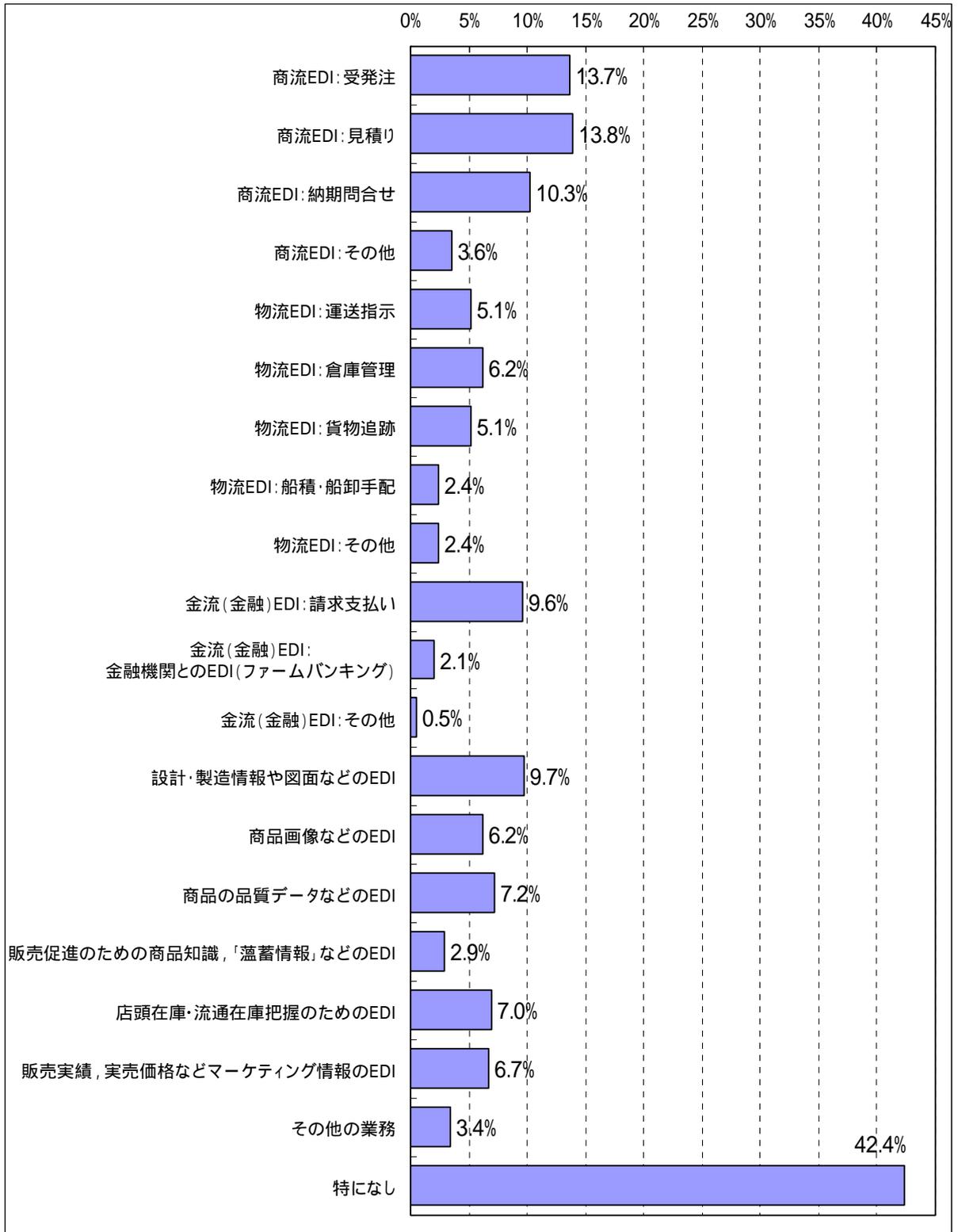
3.6 回答企業の EDI の将来適用希望の業務

問10 今後新たに EDI 導入を考えたい(考えている)業務がありますか。主なものを3つまでお答えください。

EDIを導入したい業務	回答数	構成比	対社数
商流EDI:受発注	80	8.5%	13.7%
商流EDI:見積り	81	8.6%	13.8%
商流EDI:納期間合せ	60	6.4%	10.3%
商流EDI:その他	21	2.2%	3.6%
物流EDI:運送指示	30	3.2%	5.1%
物流EDI:倉庫管理	36	3.8%	6.2%
物流EDI:貨物追跡	30	3.2%	5.1%
物流EDI:船積・船卸手配	14	1.5%	2.4%
物流EDI:その他	14	1.5%	2.4%
金流(金融)EDI:請求支払い	56	6.0%	9.6%
金流(金融)EDI: 金融機関とのEDI(ファームバンキング)	12	1.3%	2.1%
金流(金融)EDI:その他	3	0.3%	0.5%
設計・製造情報や図面などのEDI	57	6.1%	9.7%
商品画像などのEDI	36	3.8%	6.2%
商品の品質データなどのEDI	42	4.5%	7.2%
販売促進のための商品知識、「蒞蓄情報」などのEDI	17	1.8%	2.9%
店頭在庫・流通在庫把握のためのEDI	41	4.4%	7.0%
販売実績、実売価格などマーケティング情報のEDI	39	4.2%	6.7%
その他の業務	20	2.1%	3.4%
特になし	248	26.5%	42.4%
計	937	100.0%	

最も多いのは「特になし」であるが、それを除くと「商流 EDI:見積り」「商流 EDI:受発注」「商流 EDI:納期間合せ」などが続いている。

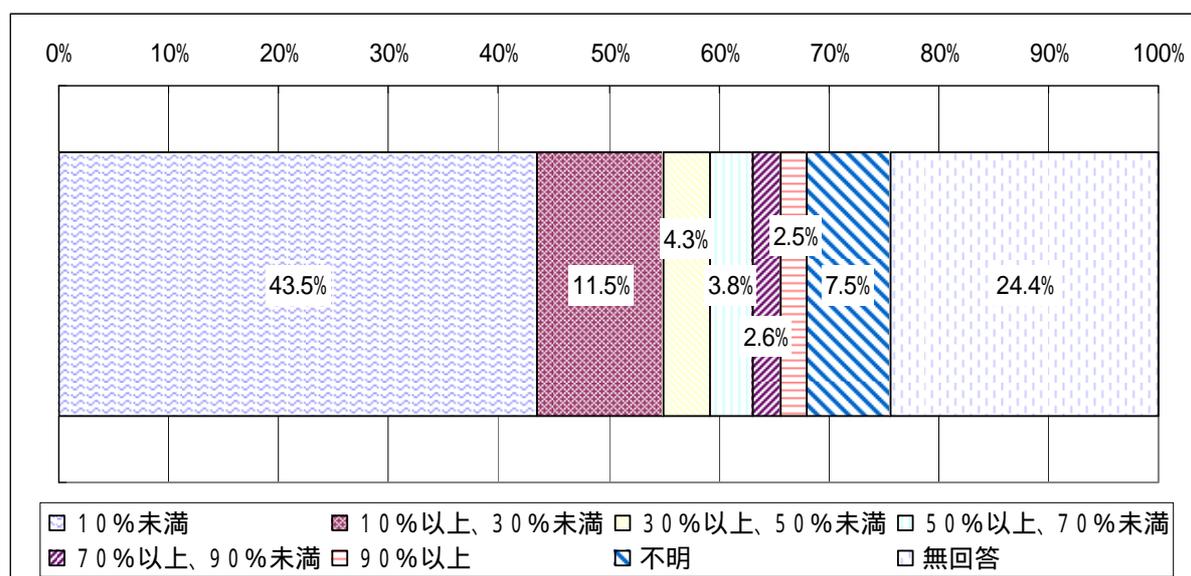
また、「設計・製造情報や図面などの EDI」「商品の品質データなどの EDI」など、いわゆる商流ではない業務の EDI に対しても関心が高くなってきているのが新たな特徴としてあげられる。



3.7 回答企業の受注者の立場における取引先社数の EDI 取引割合

問11 貴社(ご回答部門)が受注者の立場で EDI を実施している場合、取引先社数の何%と EDI 取引を実施していますか。(1つだけ)

受注者におけるEDI取引先社数比率	回答数	構成比
10%未満	335	43.5%
10%以上、30%未満	89	11.5%
30%以上、50%未満	33	4.3%
50%以上、70%未満	29	3.8%
70%以上、90%未満	20	2.6%
90%以上	19	2.5%
不明	58	7.5%
無回答	188	24.4%
計	771	100.0%

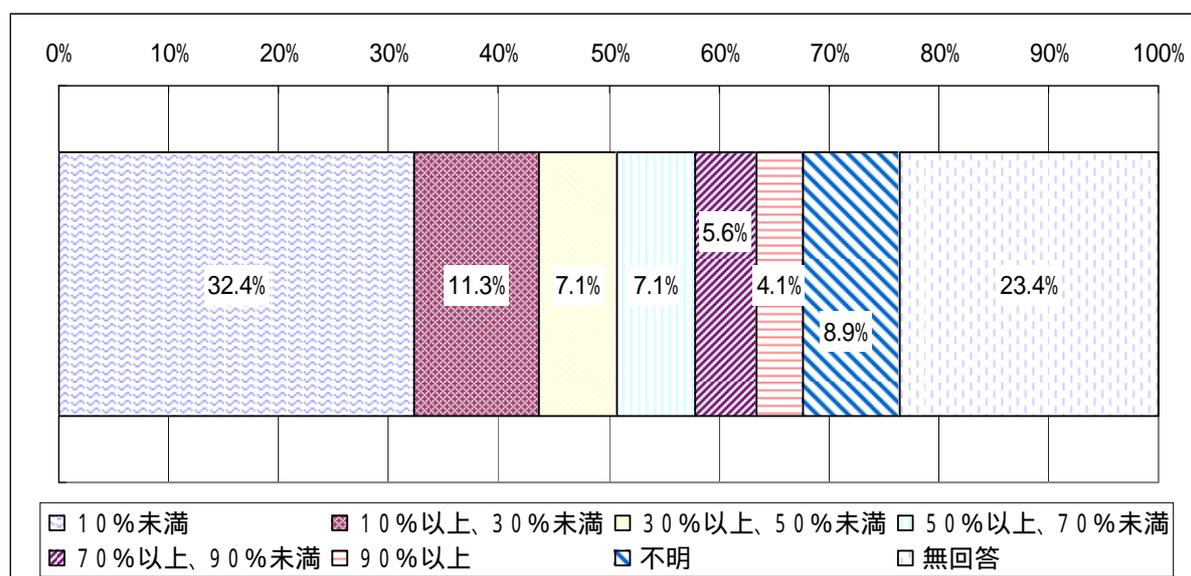


「10%未満」が最も多く、次いで「10%以上 30%未満」となっているが、いずれも前回調査よりも4~6ポイント増加している。

3.8 回答企業の受注者の立場における受注件数の EDI 取引割合

問12 貴社(ご回答部門)が受注者の立場で EDI を実施している場合、受注件数の何%が EDI で取引されていますか。(1つだけ)

受注者におけるEDI受注件数比率	回答数	構成比
10%未満	250	32.4%
10%以上、30%未満	87	11.3%
30%以上、50%未満	55	7.1%
50%以上、70%未満	55	7.1%
70%以上、90%未満	43	5.6%
90%以上	32	4.1%
不明	69	8.9%
無回答	181	23.4%
計	772	100.0%

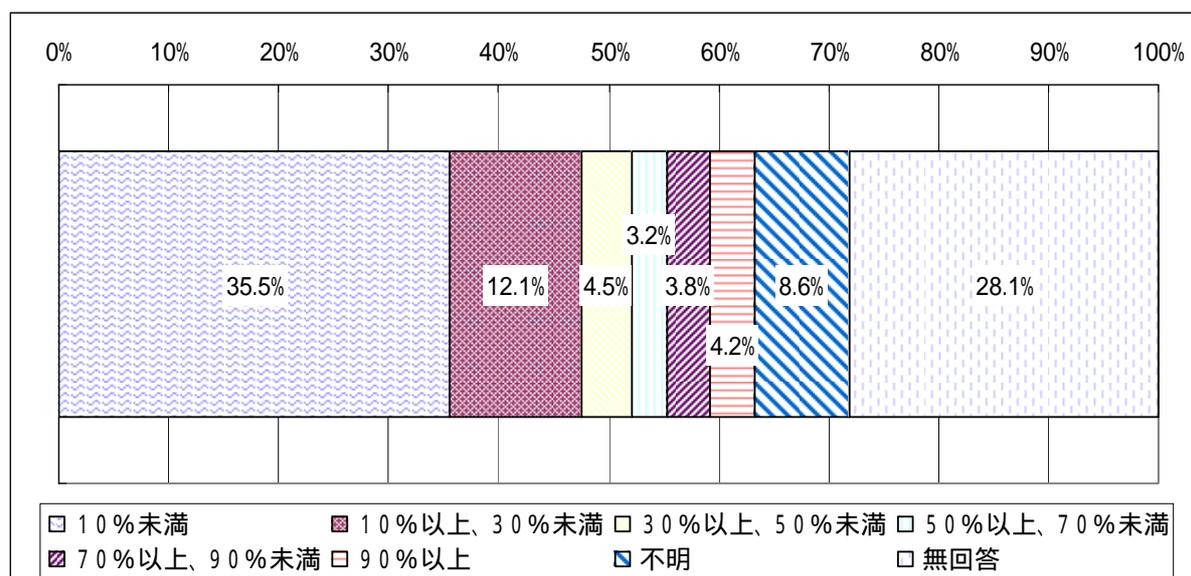


取引社数の比率同様、「10%未満」が最も多く、次いで「10%以上 30%未満」となっているが、こちらもこれらの層で前回調査よりも割合は増加している。

3.9 回答企業の発注者の立場における取引先社数の EDI 取引割合

問13 貴社(ご回答部門)が発注者の立場で EDI を実施している場合、取引先社数の何%と EDI 取引を実施していますか。(1つだけ)

発注者におけるEDI取引先社数比率	回答数	構成比
10%未満	274	35.5%
10%以上、30%未満	93	12.1%
30%以上、50%未満	35	4.5%
50%以上、70%未満	25	3.2%
70%以上、90%未満	29	3.8%
90%以上	32	4.2%
不明	66	8.6%
無回答	217	28.1%
計	771	100.0%

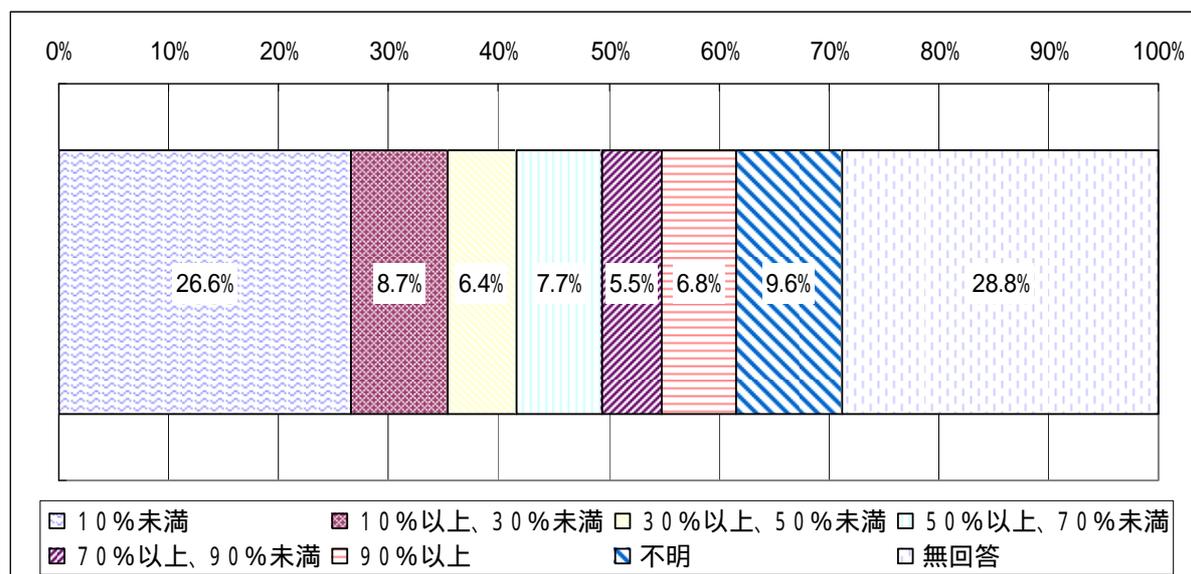


受注者の立場の場合と同様の傾向が出ており、「10%未満」が最も多く、次いで「10%以上 30%未満」となっており、いずれも前回調査よりも割合が増加している。

3.10 回答企業の発注者の立場における発注件数の EDI 取引割合

問14 貴社(ご回答部門)が発注者の立場で EDI を実施している場合、発注件数の何%が EDI で取引されていますか。(1つだけ)

発注者におけるEDI発注件数比率	回答数	構成比
10%未満	205	26.6%
10%以上、30%未満	67	8.7%
30%以上、50%未満	49	6.4%
50%以上、70%未満	59	7.7%
70%以上、90%未満	42	5.5%
90%以上	52	6.8%
不明	74	9.6%
無回答	222	28.8%
計	770	100.0%

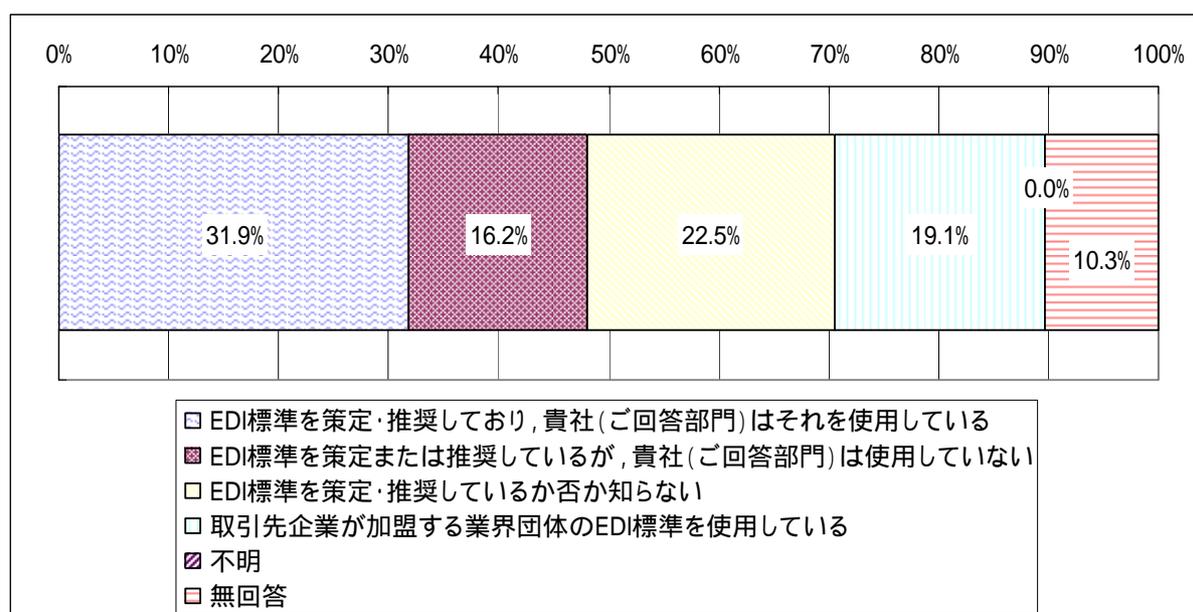


取引先数の割合と同様の傾向が出ており、「10%未満」が最も多く、次いで「10%以上 30%未満」となっており、いずれも前回調査よりも割合が増加している。

3.11 回答企業が所属する業界の EDI 標準

問15 貴社(ご回答部門)が所属する業界の EDI 標準についてお答えください。(1つだけ)

所属業界のEDI標準	回答数	構成比
EDI標準を策定・推奨しており、貴社(ご回答部門)はそれを使用している	269	31.9%
EDI標準を策定または推奨しているが、貴社(ご回答部門)は使用していない	137	16.2%
EDI標準を策定・推奨しているか否か知らない	190	22.5%
取引先企業が加盟する業界団体のEDI標準を使用している	161	19.1%
不明	0	0.0%
無回答	87	10.3%
計	844	100.0%



全体的な傾向は前回調査と大きく変わっていないが、「取引先企業が加盟する業界団体の EDI 標準を使用している」がやや伸びている。

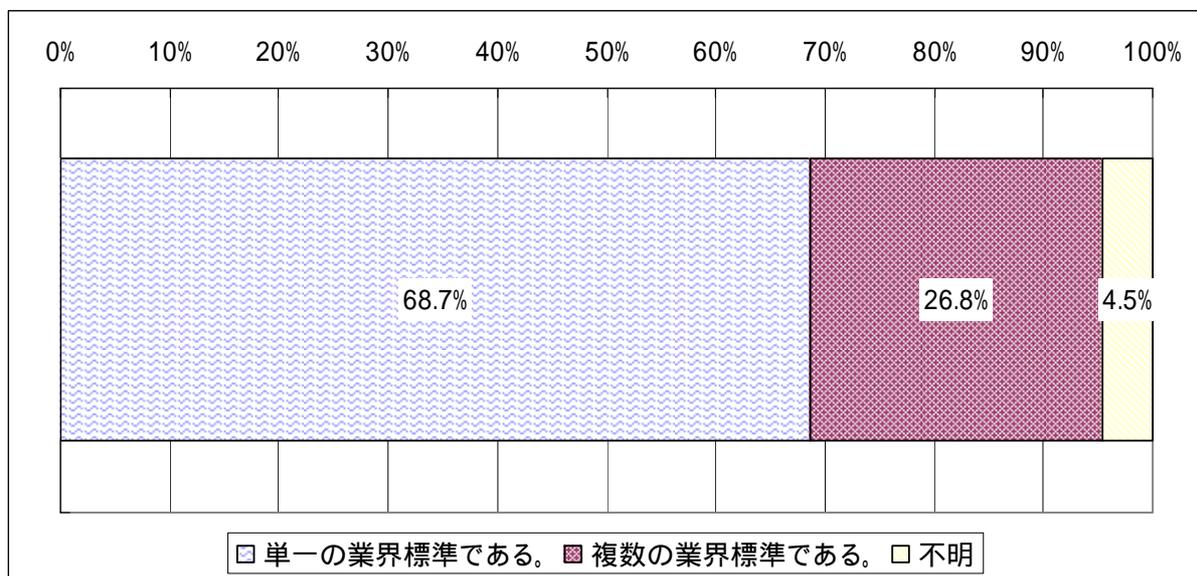
取引先企業の意向に沿う形ではあるが、業界標準を使用するという流れ自体はあるのではないかとと思われる。

3.12 回答企業が使用する業界標準の単一 / 複数標準の状況

問16 問15で「EDI標準を策定・推奨しており、貴社(ご回答部門)はそれを使用している」とお答えの方に伺います。

ご使用の業界標準は単一の標準ですか、それとも複数の業界の標準を併用していますか。(1つだけ)

使用しているEDI業界標準	回答数	構成比
単一の業界標準である。	182	68.7%
複数の業界標準である。	71	26.8%
不明	12	4.5%
計	265	100.0%

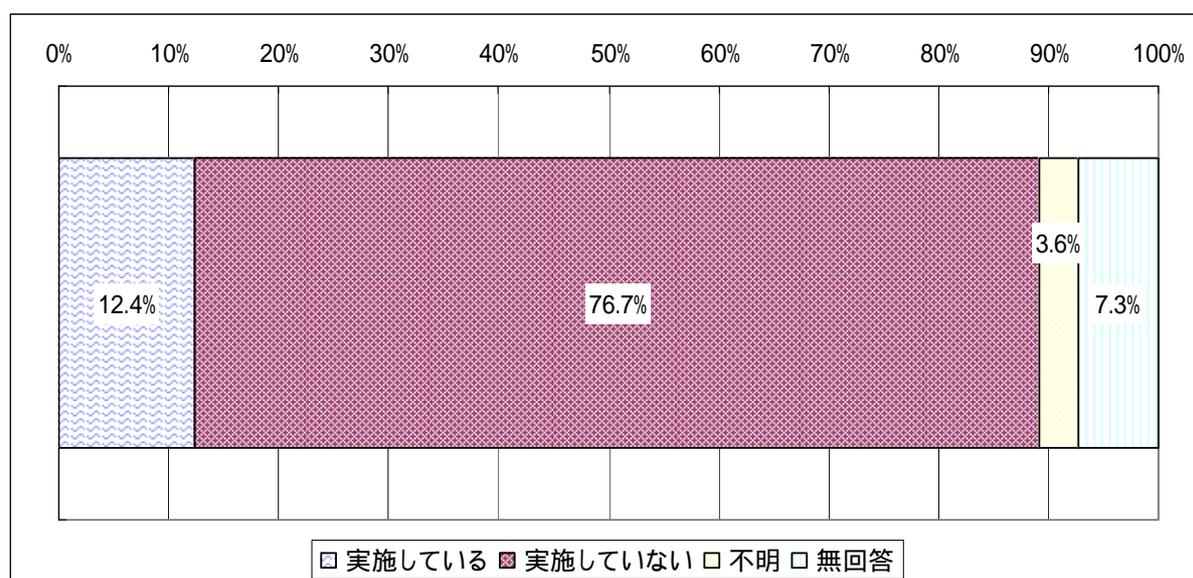


「単一の業界標準である」とする企業が2/3以上を占め、前回調査よりも増加している。一方で「複数の業界標準である」とする企業の割合は減少している。

3.13 回答企業の海外企業との EDI 実施

問17 貴社(ご回答部門)では海外の企業と直接 EDI を実施していますか。(1つだけ)

海外企業とのEDI実施	回答数	構成比
実施している	105	12.4%
実施していない	648	76.7%
不明	30	3.6%
無回答	62	7.3%
計	845	100.0%



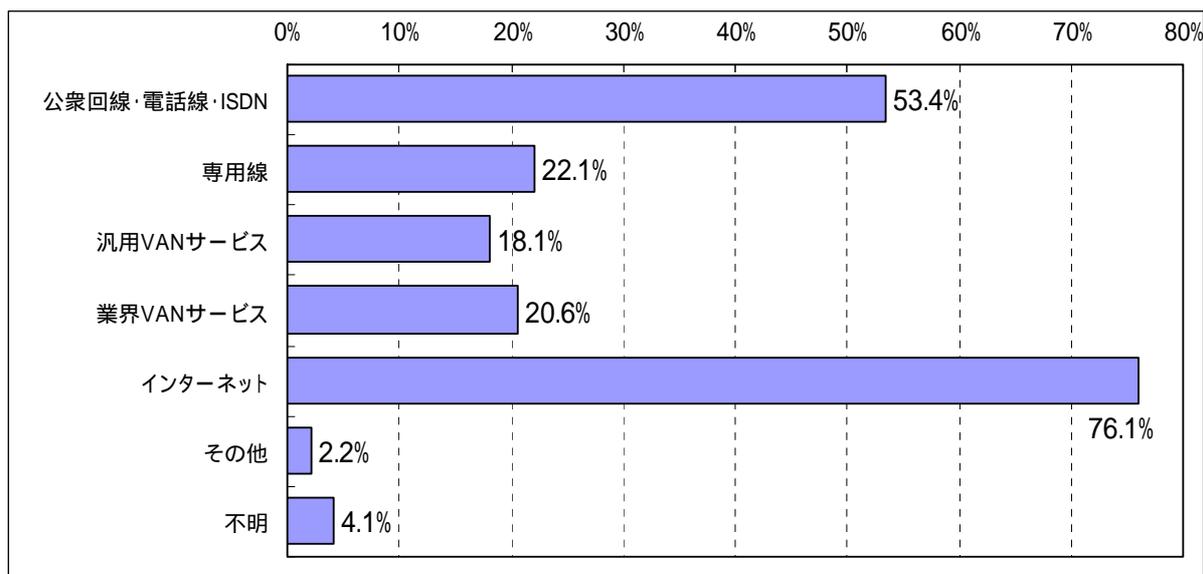
海外企業との EDI は前回同様「実施していない」とする企業が 3/4 以上を占める状況は変わっておらず、すぐには拡大していく状況ではないと考えられる。

4 EDI 活用の実態 ～技術面～

4.1 回答企業の EDI で使用している通信ネットワーク

問1 現在 EDI にご使用の通信ネットワークは何ですか。主要なものを3つまでお答えください。

EDIで使用している通信ネットワーク	回答数	構成比	対社数
公衆回線・電話線・ISDN	386	27.1%	53.4%
専用線	160	11.3%	22.1%
汎用VANサービス	131	9.2%	18.1%
業界VANサービス	149	10.5%	20.6%
インターネット	550	38.7%	76.1%
その他	16	1.1%	2.2%
不明	30	2.1%	4.1%
計	1422	100.0%	

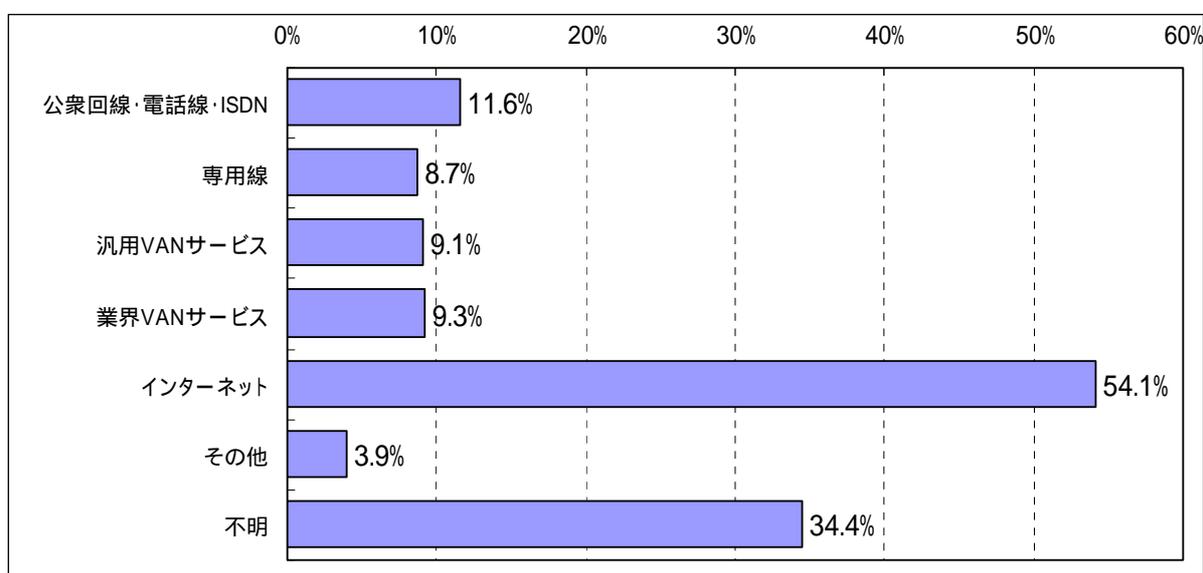


EDI で使用している通信ネットワークは、インターネットが 3/4 以上、公衆回線・電話線・ISDN が半数以上で、この傾向は前回と変わっていない。他のネットワークについてもいずれも 20% 前後の利用があり、これも大きな変化は見られない。

4.2 回答企業の将来 EDI で使用を検討している通信ネットワーク

問2 今後新たに EDI にご使用を検討されている通信ネットワークは何ですか。主要なものを3つまでお答えください。

今後EDIで使用を検討している通信ネットワーク	回答数	構成比	対社数
公衆回線・電話線・ISDN	59	8.9%	11.6%
専用線	44	6.6%	8.7%
汎用VANサービス	46	6.9%	9.1%
業界VANサービス	47	7.1%	9.3%
インターネット	275	41.3%	54.1%
その他	20	3.0%	3.9%
不明	175	26.3%	34.4%
計	666	100.0%	



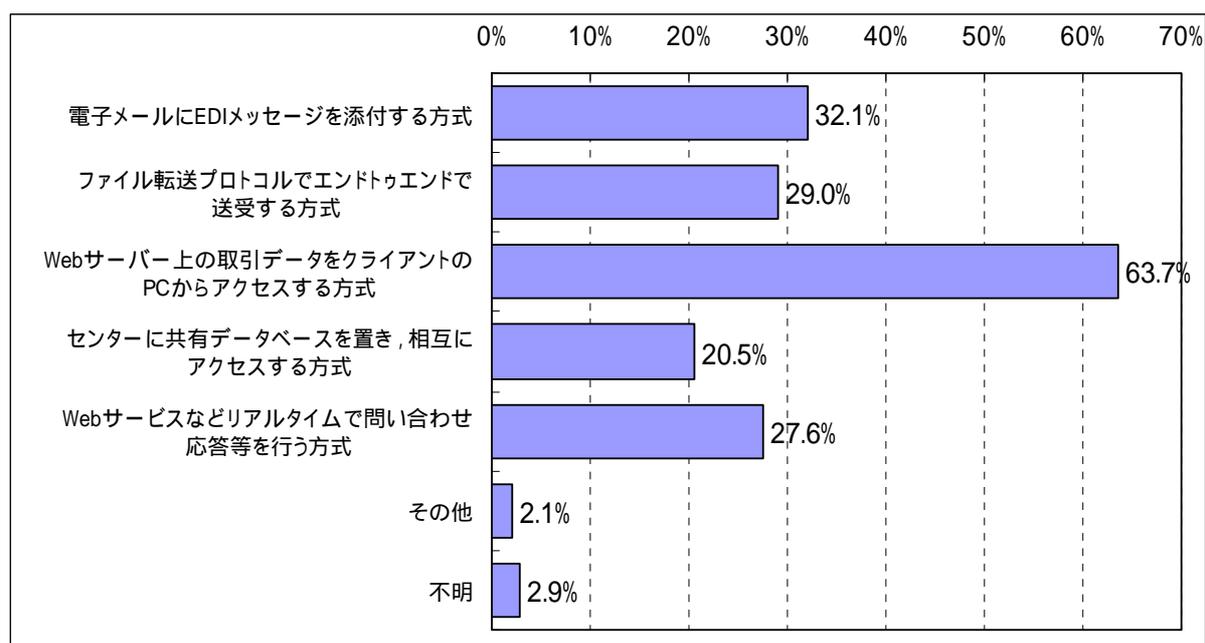
今後使用を検討している通信ネットワークでは、「不明」が前回の倍に増加した一方で、インターネットが20%以上減少し、その他のネットワークについても減少している。

今後検討する対象としてこれらに代わる新しいネットワークが出てくるまでは、同様の傾向となる可能性がある。

4.3 回答企業のインターネットを使用した EDI 方式

問3 問1または問2でインターネットとご回答の方にお伺いします。
インターネットを使用した EDI の方式はどれですか。主要なものを3つまでお答えください。

インターネットを使用したEDI方式	回答数	構成比	対社数
電子メールにEDIメッセージを添付する方式	202	18.0%	32.1%
ファイル転送プロトコルでエンドトゥエンドで送受する方式	183	16.3%	29.0%
Webサーバー上の取引データをクライアントのPCからアクセスする方式	401	35.8%	63.7%
センターに共有データベースを置き、相互にアクセスする方式	129	11.5%	20.5%
Webサービスなどリアルタイムで問い合わせ応答等を行う方式	174	15.5%	27.6%
その他	13	1.2%	2.1%
不明	18	1.6%	2.9%
計	1120	100.0%	



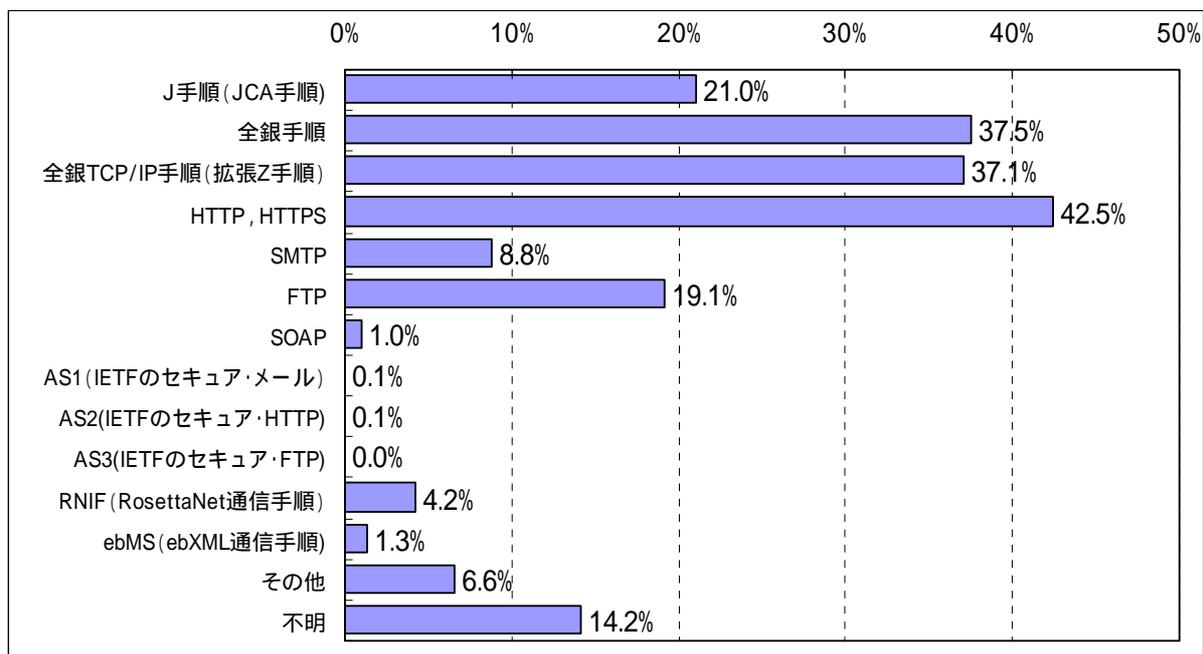
「Web サーバー上の取引データをクライアントの PC からアクセスする方式」が 63.6%と最も多く、前回より割合は増加している。

その一方で、「Web サービスなどリアルタイムで問い合わせ応答等を行う方式」も割合が増加しており、今後新たな方式として期待される方式が伸びつつある。

4.4 回答企業の EDI で使用している通信プロトコル

問4 現在 EDI にご使用の通信プロトコルは何ですか。主要なものを3つまでお答えください。

EDIで使用している通信プロトコル	回答数	構成比	対社数
J手順(JCA手順)	144	10.9%	21.0%
全銀手順	257	19.4%	37.5%
全銀TCP/IP手順(拡張Z手順)	254	19.2%	37.1%
HTTP, HTTPS	291	21.9%	42.5%
SMTP	60	4.5%	8.8%
FTP	131	9.9%	19.1%
SOAP	7	0.5%	1.0%
AS1(IETFのセキュア・メール)	1	0.1%	0.1%
AS2(IETFのセキュア・HTTP)	1	0.1%	0.1%
AS3(IETFのセキュア・FTP)	0	0.0%	0.0%
RNIF(RosettaNet通信手順)	29	2.2%	4.2%
ebMS(ebXML通信手順)	9	0.7%	1.3%
その他	45	3.4%	6.6%
不明	97	7.3%	14.2%
計	1326	100.0%	

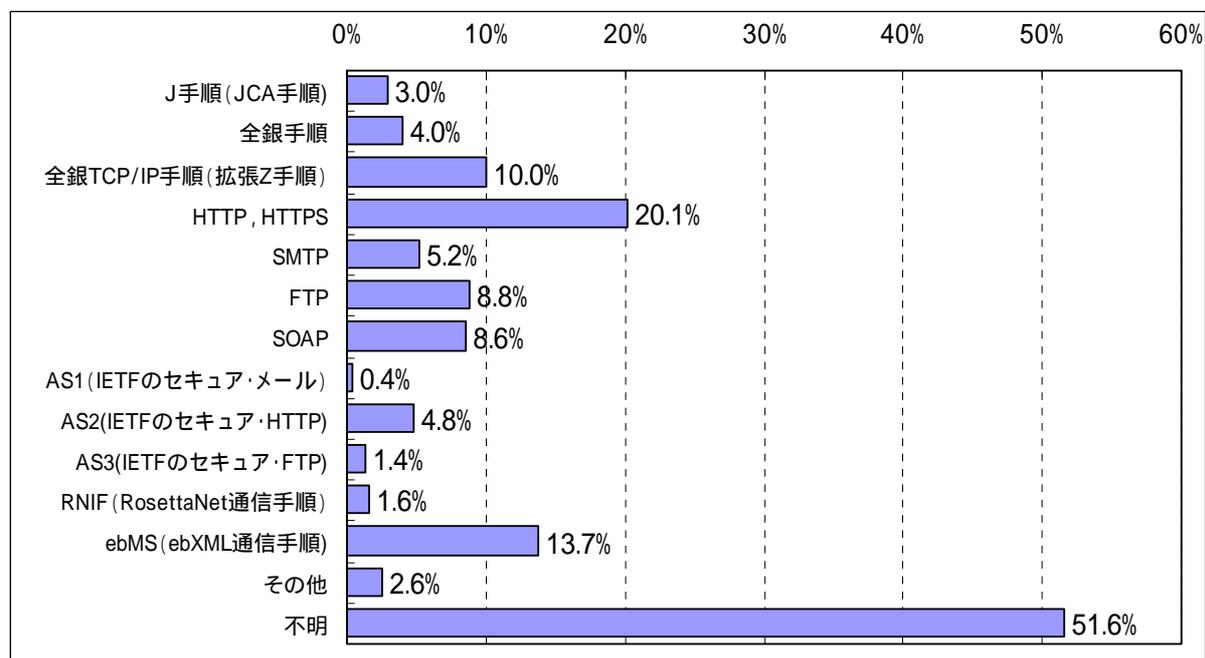


通信プロトコルは、「全銀手順」「全銀 TCP/IP 手順」が減少した一方で、「HTTP、HTTPS」の割合が増加している。少しずつではあるが旧来のプロトコルからの切替が進んできている傾向ではないかと思われる。

4.5 回答企業の将来 EDI で使用を検討している通信プロトコル

問5 今後新たに EDI にご使用を検討されている通信プロトコルは何ですか。主要なものを3つまでお答えください。

今後EDIで使用を検討している通信プロトコル	回答数	構成比	対社数
J手順 (JCA手順)	15	2.2%	3.0%
全銀手順	20	2.9%	4.0%
全銀TCP/IP手順 (拡張Z手順)	50	7.3%	10.0%
HTTP, HTTPS	101	14.8%	20.1%
SMTP	26	3.8%	5.2%
FTP	44	6.5%	8.8%
SOAP	43	6.3%	8.6%
AS1 (IETFのセキュア・メール)	2	0.3%	0.4%
AS2(IETFのセキュア・HTTP)	24	3.5%	4.8%
AS3(IETFのセキュア・FTP)	7	1.0%	1.4%
RNIF (RosettaNet通信手順)	8	1.2%	1.6%
ebMS (ebXML通信手順)	69	10.1%	13.7%
その他	13	1.9%	2.6%
不明	259	38.0%	51.6%
計	681	100.0%	



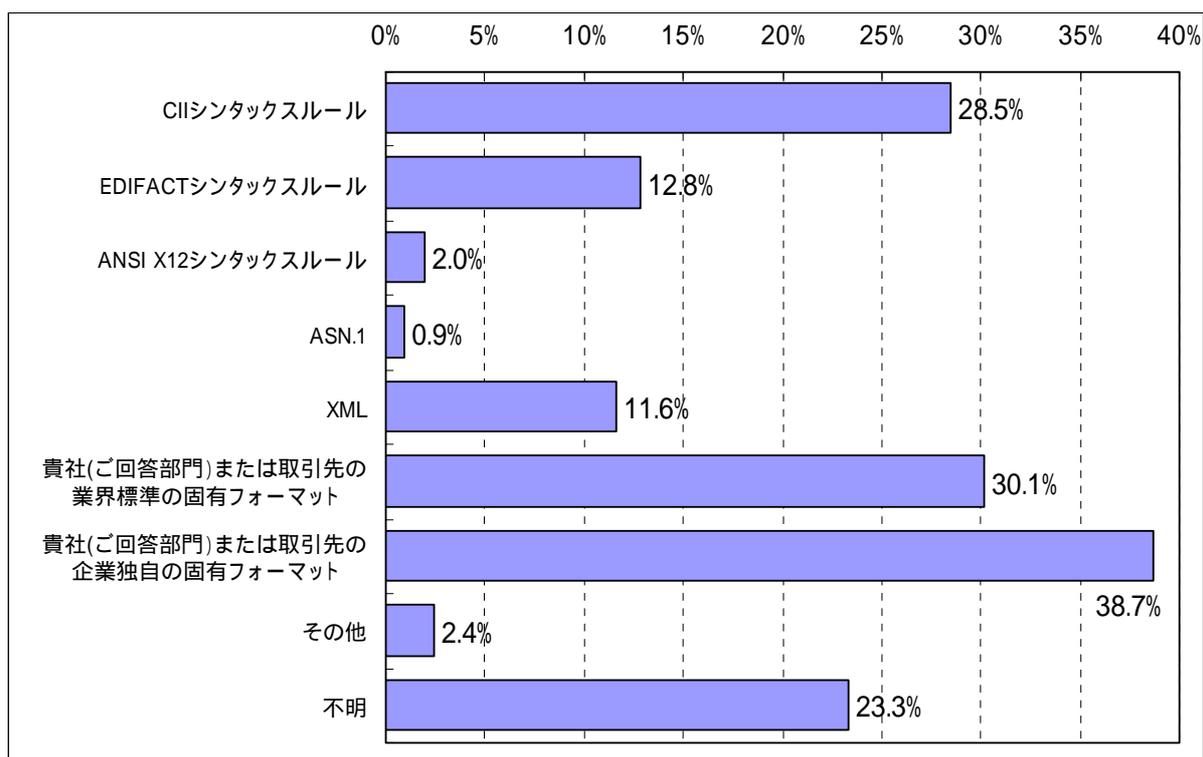
今後使用を検討する通信プロトコルでは「不明」が 10 ポイント以上増加している一方、具体的な通信プロトコルの割合は軒並み減っている。

増加したのは SMTP、SOAP、AS2 で、通信プロトコルの切替に係る取り組みを行っている業界の影響も出てきているのではないかと思われる。

4.6 回答企業の EDI で使用しているシンタックスルール

問6 現在 EDI にご使用のシンタックスルール(構文規則・文法)は何ですか。主要なものを3つまでお答えください。

EDIで使用しているシンタックスルール	回答数	構成比	対社数
CIIシンタックスルール	189	18.9%	28.5%
EDIFACTシンタックスルール	85	8.5%	12.8%
ANSI X12シンタックスルール	13	1.3%	2.0%
ASN.1	6	0.6%	0.9%
XML	77	7.7%	11.6%
貴社(ご回答部門)または取引先の 業界標準の固有フォーマット	200	20.0%	30.1%
貴社(ご回答部門)または取引先の 企業独自の固有フォーマット	257	25.8%	38.7%
その他	16	1.6%	2.4%
不明	155	15.5%	23.3%
計	998	100.0%	

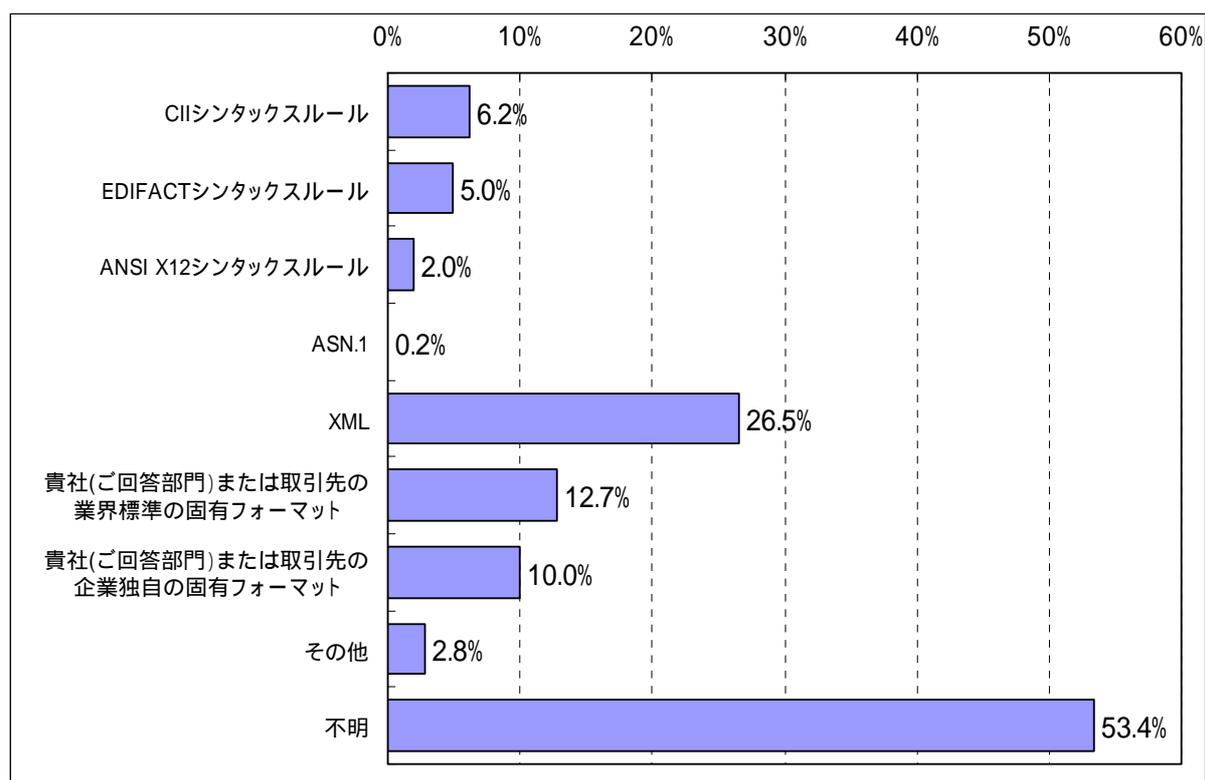


CIIシンタックスルール、EDIFACTシンタックスルール等の従来からのシンタックスはやや減少傾向にある一方で、業界標準や企業独自の固有フォーマットがやや増加している。また XML もわずかであるが増加している。

4.7 回答企業の将来 EDI で使用を検討しているシンタックスルール

問7 今後新たに EDI にご使用を検討されているシンタックスルール(構文規則・文法)は何ですか。主要なものを3つまでお答えください。

今後EDIで使用を検討しているシンタックスルール	回答数	構成比	対社数
CIIシンタックスルール	31	5.2%	6.2%
EDIFACTシンタックスルール	25	4.2%	5.0%
ANSI X12シンタックスルール	10	1.7%	2.0%
ASN.1	1	0.2%	0.2%
XML	133	22.3%	26.5%
貴社(ご回答部門)または取引先の 業界標準の固有フォーマット	64	10.7%	12.7%
貴社(ご回答部門)または取引先の 企業独自の固有フォーマット	50	8.4%	10.0%
その他	14	2.3%	2.8%
不明	268	45.0%	53.4%
計	596	100.0%	

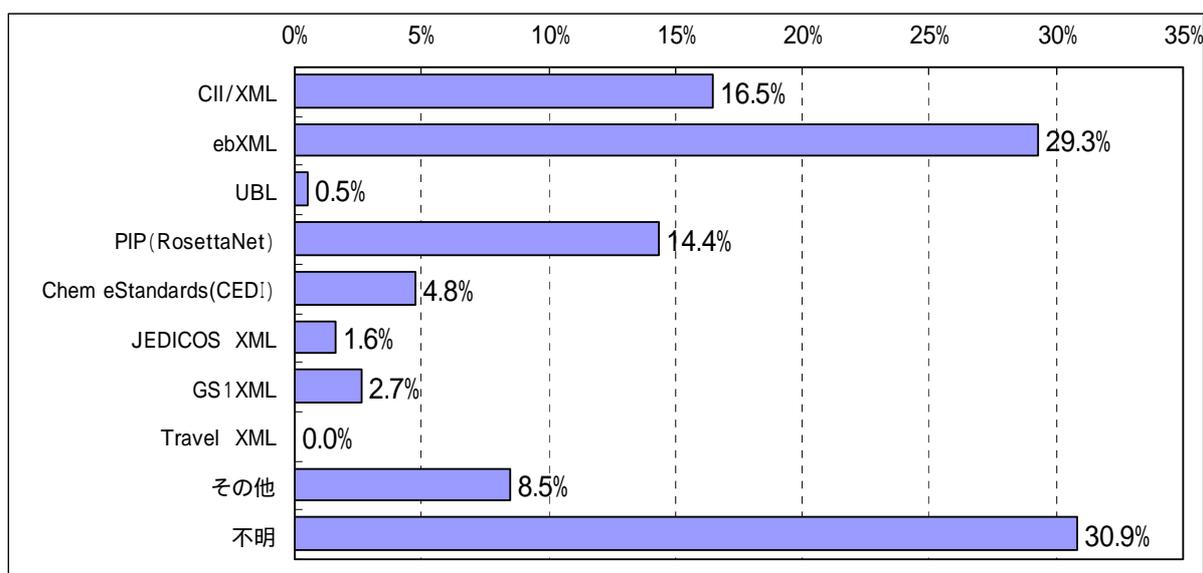


「不明」とする回答が半数を超え、他のシンタックスについてはほとんどがその割合を減少させている。そのような中で XML だけは前回とほぼ同様の割合を示しており、引き続き関心が高いと考えられる。

4.8 回答企業の XML のメッセージ方式

問8 問6または問7で XML とご回答の方にお伺いします。
XML のメッセージ方式は何ですか。主要なものを3つまでお答えください。

XMLのメッセージ方式	回答数	構成比	対社数
CII/XML	31	15.1%	16.5%
ebXML	55	26.8%	29.3%
UBL	1	0.5%	0.5%
PIP (RosettaNet)	27	13.2%	14.4%
Chem eStandards(CEDI)	9	4.4%	4.8%
JEDICOS XML	3	1.5%	1.6%
GS1XML	5	2.4%	2.7%
Travel XML	0	0.0%	0.0%
その他	16	7.8%	8.5%
不明	58	28.3%	30.9%
計	205	100.0%	

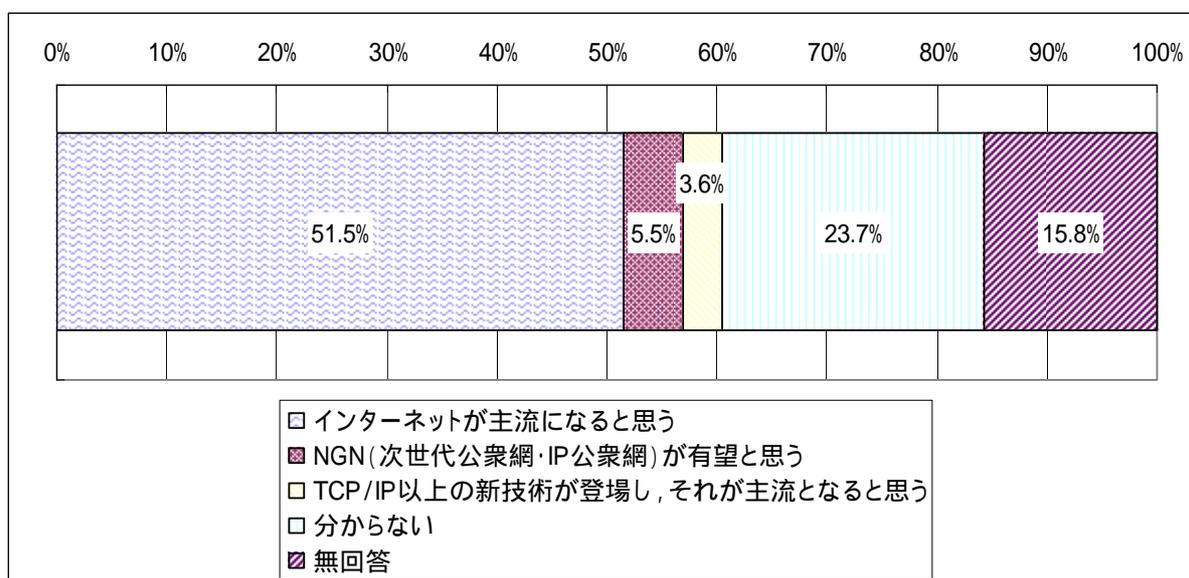


「不明」が増加する一方で、他の XML メッセージ方式はほとんどの方式で割合が減少している。

4.9 今後の EDI ネットワークがインターネット主流になるか

問9 今後 EDI のネットワークとしてインターネットが主流になるとお考えですか。(1つだけ)

今後主流になるとされるEDIネットワーク	回答数	構成比
インターネットが主流になると思う	435	51.5%
NGN(次世代公衆網・IP公衆網)が有望と思う	46	5.5%
TCP/IP以上の新技术が登場し、それが主流となると思う	30	3.6%
分からない	200	23.7%
無回答	133	15.8%
計	844	100.0%

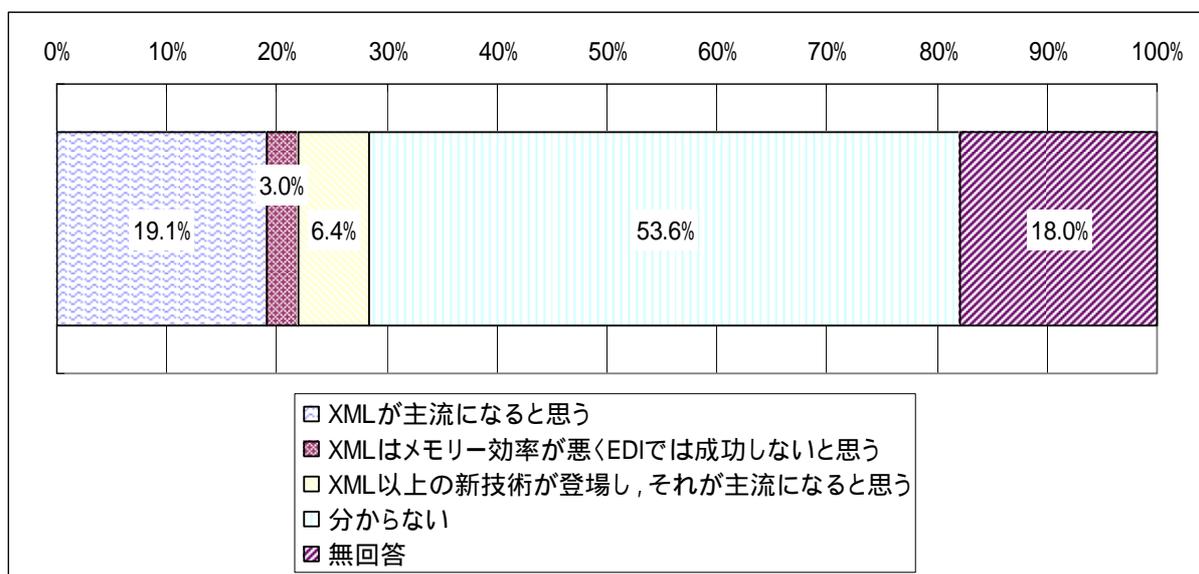


「インターネットが主流になる」という割合は減少しているものの相変わらず半数以上の割合を占め、中心的な考え方となっているようである。一方で「分からない」「無回答」が4割近くを占めており、まだ先行きが読みにくいという感覚も多くの企業で持っているようである。

4.10 今後の EDI のシンタックスが XML 主流になるか

問10 今後 EDI のシンタックスとして XML が主流になるとお考えですか。(1つだけ)

今後主流になると思われるシンタックス	回答数	構成比
XMLが主流になると思う	161	19.1%
XMLはメモリー効率が悪くEDIでは成功しないと思う	25	3.0%
XML以上の新技術が登場し、それが主流になると	54	6.4%
分からない	453	53.6%
無回答	152	18.0%
計	845	100.0%



「XML が主流になる」という割合は 2 割弱である一方、「分からない」「無回答」で 7 割以上を占め、シンタックスについては多くが先行きの見通しがついていないという状況にある。

5 まとめ

調査票の構成に基づき、「業務面」「技術面」の双方からアンケート調査結果について言及できることを以下に示す。

(参考) 業務面について

企業規模が小さい企業における EDI 導入とその効果

企業規模(代表的には売上高等)が小さい企業においては、規模が大きな企業に比べ、EDI 導入割合は低く、またその導入効果についても規模が小さくなるにつれ、享受できていない傾向が高まっている。これは規模の小さい企業は立場的には受注者であることが多く、EDI の導入についても受動的にならざるを得ず、導入形態としても Web-EDI のような効率化が十分図りにくい仕組みであることも影響しているといえる。

EDI 導入業務

EDI 導入は当初の目的が受発注業務への適用とする企業が多いと考えられ、実態としてもそのような導入状況となっている。導入拡大を図るには取引先の拡大と、対象業務の拡大の2つの方向があるが、受発注に絡む見積りや納期問合せ、また請求支払といった金融・金流に係る業務への適用が拡大してきている傾向が見られた。

さらに、新たな対象業務として、「設計・製造情報や図面などの EDI」「商品の品質データなどの EDI」など、いわゆる商流ではない業務の EDI に対しても関心が高くなってきているのが新たな特徴としてあげられる。また導入割合は低いものの、国際的な要求や消費者からの要望の高まりに対して企業として対応が期待されていることの裏付けともいえ、今後どのように推移していくかを把握していくことが求められる。

(参考) 技術面について

新たな技術に対する関心

通信ネットワーク、通信プロトコル、シンタックスルールのそれぞれについて現状と今後の検討の方向を調査したが、いずれにおいても検討の方向としての関心度は前回に比べ低くなっている傾向が見取れた。

これは、現状提供されている技術を活用して早く EDI 導入・利活用に対する実を取りたいとする考えや、現在提案されている技術について導入後の利用イメージやメリット等がまだ十分に見えていないための回答結果ではないかと考えられる。

【参考資料：アンケート調査票】

EDI推進協議会 (JEDIC)

平成19年度「EDI実態調査」調査票1

調査票1は、EDIの実施状況、EDIの認知度、標準化へのご関心などを伺います。
お分かりになる範囲で結構ですので、なるべくお答えください。

問1 貴社のH18年3月末時点の資本金はどれくらいですか。(1つだけ)

1 100万円未満	7 10億円以上50億円未満
2 100万円以上1千万円未満	8 50億円以上100億円未満
3 1千万円以上5千万円未満	9 100億円以上500億円未満
4 5千万円以上1億円未満	10 500億円以上1千億円未満
5 1億円以上5億円未満	11 1千億円以上
6 5億円以上10億円未満	12 不明

問2 貴社(ご回答部門)のH18年度の売上高はどれくらいですか。(1つだけ)

1 100万円未満	7 10億円以上50億円未満
2 100万円以上1千万円未満	8 50億円以上100億円未満
3 1千万円以上5千万円未満	9 100億円以上500億円未満
4 5千万円以上1億円未満	10 500億円以上1千億円未満
5 1億円以上5億円未満	11 1千億円以上
6 5億円以上10億円未満	12 不明

問3 貴社(ご回答部門)のH18年3月末時点の従業員は何人ですか。(1つだけ)

1 10人未満	6 1千人以上5千人未満
2 10人以上50人未満	7 5千人以上1万人未満
3 50人以上100人未満	8 1万人以上
4 100人以上500人未満	9 不明
5 500人以上1千人未満	

問4 貴社(ご回答部門)が所属する業界団体をお教えてください。 複数の団体に所属されている場合は、ご回答部門と関係の深い順に4つまでお答えください。

1 (社)日本自動認識システム協会	33 (社)日本電気計測器工業会
2 (財)エンジニアリング振興協会	34 (社)日本電機工業会
3 (財)家電製品協会	35 (社)全国自動車部品商団体連合会
4 (社)日本アルミニウム協会	36 (社)電子情報技術産業協会
5 (財)建設業振興基金	37 (社)日本電線工業会
6 (社)日本鉄鋼連盟	38 (社)パーソナルコンピュータソフトウェア協会
7 (社)港湾物流情報システム協会	39 (社)日本半導体製造装置協会
8 (財)国際情報化協力センター	40 日本百貨店協会
9 写真業界流通情報システム協議会	41 日本フォーム印刷工業連合会
10 (財)住宅産業情報サービス	42 (社)日本貿易会
11 (社)情報サービス産業協会	43 (財)日本貿易関係手続簡易化協会 (及び本協会の会員団体、船主協会など)
12 (財)情報処理相互運用技術協会	44 日本紡績協会
13 (財)生活用品振興センター	45 日本優良家具販売協同組合
14 (財)製造科学技術センター	46 (社)日本ロジスティクスシステム協会
15 石油化学工業協会	47 (社)日本物流団体連合会 (及び本連合会の会員団体、全国トラック協会など)
16 石油連盟	48 NEXT Q
17 全国コイルセンター工業組合	49 (財)流通システム開発センター
18 全国鉄鋼販売業連合会	50 旅行電子商取引促進機構
19 全日本電設資材卸業協同組合連合会	51 (財)日本情報処理開発協会
20 電気事業連合会	52 (財)石油産業活性化センター
21 (社)日本アパレル産業協会	53 繊維産業流通構造改革推進協議会
22 (財)インターネット協会	54 (社)日本配電制御システム工業会
23 日本化学繊維協会	55 (社)日本航空宇宙工業会
24 (社)日本ガス協会	56 (財)食品流通構造改善促進機構
25 日本紙商団体連合会	57 全国家電流通協議会
26 (社)日本玩具協会	58 (社)日本塗料工業会
27 (社)日本建材・住宅設備産業協会	59 (社)日本電気制御機器工業会
28 (社)日本広告業協会	60 共通XML/EDI実用化推進協議会
29 (社)日本自動車工業会	61 有限責任中間法人日本出版インフラセンター
30 (社)日本情報システム・ユーザー協会	62 日本スーパーマーケット協会
31 日本製紙連合会	63 (社)日本電設工業協会
32 日本チェーンストア協会	64 不明

問5 貴社(ご回答部門)では国内企業との取引で、EDIを導入していますか。(1つだけ)

1 全ての取引先と行っている	4 現在実施しておらず、今後も行う予定はない
2 一部の取引先と行っている	5 不明
3 実施したいが現状は行っていない	

問6 問5で「実施したいが現状は行っていない」とお答えの方に伺います。EDIを導入していない理由は何ですか、3つまでお答えください。

1 EDI導入のコストが高い	7 社内システムとデータフォーマットが合わず連携がとりにく
2 EDI導入の効果が見えない	8 複数(顧客ごと)のシステムが導入されるようになってしま
3 EDI導入に詳しいシステムベンダ、ソフトウェア業者に 関する情報がない	9 取引先が貴社(ご回答部門)の情報セキュリティについて 不安を持っている
4 EDI標準フォーマットなど業界共通の標準がない	10 貴社(ご回答部門)が取引先の情報セキュリティについて 不安を持っている
5 社内にEDIに詳しい人材がない	11 その他
6 既に取引先と独自手法(紙ベースなど)がある	

問7 問5で「実施したいが現状では行っていない」とお答えの方に伺います。EDIをこれから始める際に障害となると思われる点について、3つまでお答え下さい。

1 社内トップ(経営者)の調整、説得	7 社内での人材の確保
2 社内の各部門の調整、説得(EDI導入のメリットなど)	8 社内での資金の確保
3 社内の業務処理の変更	9 EDIに関する情報収集
4 社内システムの接続、調整	10 特になし
5 システムベンダ、ソフトウェア業者の選定・調整	11 その他
6 取引先との調整	

問8 EDIの導入はIT経営や業務改革、売り上げの拡大等に役立っていますか。(1つだけ)

1 非常に役立っている	4 まったく役立っていない
2 ある程度役立っている	5 不明
3 あまり役立っていない	

問9 現在どのような業務にEDIを導入していますか、主なものを3つまでお答えください。

1 商流EDI:受発注	11 金流(金融)EDI:金融機関とのEDI(ファームバンキング)
2 商流EDI:見積り	12 金流(金融)EDI:その他
3 商流EDI:納期間合せ	13 設計・製造情報や図面などのEDI
4 商流EDI:その他	14 商品画像などのEDI
5 物流EDI:運送指示	15 商品の品質データなどのEDI
6 物流EDI:倉庫管理	16 販売促進のための商品知識、「蘆蓄情報」などのEDI
7 物流EDI:貨物追跡	17 店頭在庫・流通在庫把握のためのEDI
8 物流EDI:船積・船卸手配	18 販売実績、実売価格などマーケティング情報のEDI
9 物流EDI:その他	19 その他の業務
10 金流(金融)EDI:請求支払い	20 特になし

問10 今後新たにEDI導入を考えたい(考えている)業務がありますか、主なものを3つまでお答えください。

1 商流EDI:受発注	11 金流(金融)EDI:金融機関とのEDI(ファームバンキング)
2 商流EDI:見積り	12 金流(金融)EDI:その他
3 商流EDI:納期間合せ	13 設計・製造情報や図面などのEDI
4 商流EDI:その他	14 商品画像などのEDI
5 物流EDI:運送指示	15 商品の品質データなどのEDI
6 物流EDI:倉庫管理	16 販売促進のための商品知識、「蘆蓄情報」などのEDI
7 物流EDI:貨物追跡	17 店頭在庫・流通在庫把握のためのEDI
8 物流EDI:船積・船卸手配	18 販売実績、実売価格などマーケティング情報のEDI
9 物流EDI:その他	19 その他の業務
10 金流(金融)EDI:請求支払い	20 特になし

問11 貴社(ご回答部門)が受注者の立場でEDIを実施している場合、取引先社数の何%とEDI取引を実施していますか。(1つだけ)

1 10%未満	5 70%以上、90%未満
2 10%以上、30%未満	6 90%以上
3 30%以上、50%未満	7 不明
4 50%以上、70%未満	

問12 貴社(ご回答部門)が受注者の立場でEDIを実施している場合、受注件数の何%がEDIで取引されていますか。(1つだけ)

1 10%未満	5 70%以上、90%未満
2 10%以上、30%未満	6 90%以上
3 30%以上、50%未満	7 不明
4 50%以上、70%未満	

問13 貴社(ご回答部門)が発注者の立場でEDIを実施している場合、取引先社数の何%とEDI取引を実施していますか。(1つだけ)

1 10%未満	5 70%以上、90%未満
2 10%以上、30%未満	6 90%以上
3 30%以上、50%未満	7 不明
4 50%以上、70%未満	

問14 貴社(ご回答部門)が発注者の立場でEDIを実施している場合、発注件数の何%がEDIで取引されていますか。(1つだけ)

1 10%未満	5 70%以上、90%未満
2 10%以上、30%未満	6 90%以上
3 30%以上、50%未満	7 不明
4 50%以上、70%未満	

問15 貴社(ご回答部門)が所属する業界のEDI標準についてお答えください。(1つだけ)

1 EDI標準を策定・推奨しており、貴社(ご回答部門)はそれを使用している	3 EDI標準を策定・推奨しているか否か知らない
2 EDI標準を策定または推奨しているが、貴社(ご回答部門)は使用していない	4 取引先企業が加盟する業界団体のEDI標準を使用している

問16 問15で「EDI標準を策定・推奨しており、貴社(ご回答部門)はそれを使用している」とお答えの方に伺います。ご使用の業界標準は単一の標準ですか、それとも複数の業界の標準を併用していますか。(1つだけ)

1 単一の業界標準である。	3 不明
2 複数の業界標準である。	

問17 貴社(ご回答部門)では海外の企業と直接EDIを実施していますか。(1つだけ)

1 実施している	3 不明
2 実施していない	

EDI推進協議会(JEDIC)

平成19年度「EDI実態調査」調査票2

調査票2は、皆様をご現在使用されている、あるいは今後ご使用になりたいEDIの方式についてお伺いします。
お分かりになる範囲でお答えください。
技術をご専門の方がいらっしゃらない場合は、回答されなくても結構です。

問1 現在EDIにご使用の通信ネットワークは何ですか。主要なものを3つまでお答えください。

1 公衆回線・電話線・ISDN	5 インターネット
2 専用線	6 その他
3 汎用VANサービス	7 不明
4 業界VANサービス	

問2 今後新たにEDIにご使用を検討されている通信ネットワークは何ですか。主要なものを3つまでお答えください。

1 公衆回線・電話線・ISDN	5 インターネット
2 専用線	6 その他
3 汎用VANサービス	7 不明
4 業界VANサービス	

**問3 問1または問2でインターネットとご回答の方にお伺いします。
インターネットを使用したEDIの方式はどれですか。主要なものを3つまでお答えください。**

1 電子メールにEDIメッセージを添付する方式	5 Webサービスなどリアルタイムで問い合わせ応答等を行う方式
2 ファイル転送プロトコルでエンドトゥエンドで送受する方式	6 その他
3 Webサーバー上の取引データをクライアントのPCからアクセスする方式	7 不明
4 センターに共有データベースを置き、相互にアクセスする方式	

問4 現在EDIにご使用の通信プロトコルは何ですか。主要なものを3つまでお答えください。

1 J手順(JCA手順)	8 AS1(IETFのセキュア・メール)
2 全銀手順	9 AS2(IETFのセキュア・HTTP)
3 全銀TCP/IP手順(拡張Z手順)	10 AS3(IETFのセキュア・FTP)
4 HTTP, HTTPS	11 RNIF(RosettaNet通信手順)
5 SMTP	12 ebMS(ebXML通信手順)
6 FTP	13 その他
7 SOAP	14 不明

問5 今後新たにEDIにご使用を検討されている通信プロトコルは何ですか。主要なものを3つまでお答えください。

1 J手順(JCA手順)	8 AS1(IETFのセキュア・メール)
2 全銀手順	9 AS2(IETFのセキュア・HTTP)
3 全銀TCP/IP手順(拡張Z手順)	10 AS3(IETFのセキュア・FTP)
4 HTTP, HTTPS	11 RNIF(RosettaNet通信手順)
5 SMTP	12 ebMS(ebXML通信手順)
6 FTP	13 その他
7 SOAP	14 不明

問6 現在EDIにご使用のシンタックスルール(構文規則・文法)は何ですか。主要なものを3つまでお答えください。

1 CIIシンタックスルール	6 貴社(ご回答部門)または取引先の業界標準の固有フォーマット
2 EDIFACTシンタックスルール	7 貴社(ご回答部門)または取引先の企業独自の固有フォーマット
3 ANSI X12シンタックスルール	8 その他
4 ASN.1	9 不明
5 XML	

問7 今後新たにEDIにご使用を検討されているシンタックスルール(構文規則・文法)は何ですか、
 主要なものを3つまでお答えください。

1 CIIシンタックスルール	6 貴社(ご回答部門)または取引先の業界標準の固有フォーマット
2 EDIFACTシンタックスルール	7 貴社(ご回答部門)または取引先の企業独自の固有フォーマット
3 ANSI X12シンタックスルール	8 その他
4 ASN.1	9 不明
5 XML	

問8 問6または問7でXMLとご回答の方にお伺いします。
 XMLのメッセージ方式は何ですか、主要なものを3つまでお答えください。

1 CII/XML	6 JEDICOS XML
2 ebXML	7 GS1XML
3 UBL	8 Travel XML
4 PIP(RosettaNet)	9 その他
5 Chem eStandards(CEDI)	10 不明

問9 今後EDIのネットワークとしてインターネットが主流になるとお考えですか。(1つだけ)

1 インターネットが主流になると思う	3 TCP/IP以上の新技術が登場し、それが主流になると 思う
2 NGN(次世代公衆網・IP公衆網)が有望と思う	4 分からない

問10 今後EDIのシンタックスとしてXMLが主流になるとお考えですか。(1つだけ)

1 XMLが主流になると思う	3 XML以上の新技術が登場し、それが主流になると 思う
2 XMLはメモリー効率が悪くEDIでは成功しないと思う	4 分からない

禁 無 断 転 載

平成 19 年度 我が国産業界における EDI 実態調査報告書
平成 20 年 2 月 発行

発行所 財団法人 日本情報処理開発協会
電子商取引推進センター
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館3階

TEL: 03(3436)7500

印刷所 有限会社 園企画プリント
東京都港区三田3丁目1番19号柳下ビル
TEL: 03(5418)7121

(本報告書は再生紙を使用しています。) 19-E002

(裏表紙)

ISBN978-4-89078-657-2 C2033

フォントは見本参照